

IDWR

静岡県

2025年第11週(3月10日～3月16日)

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

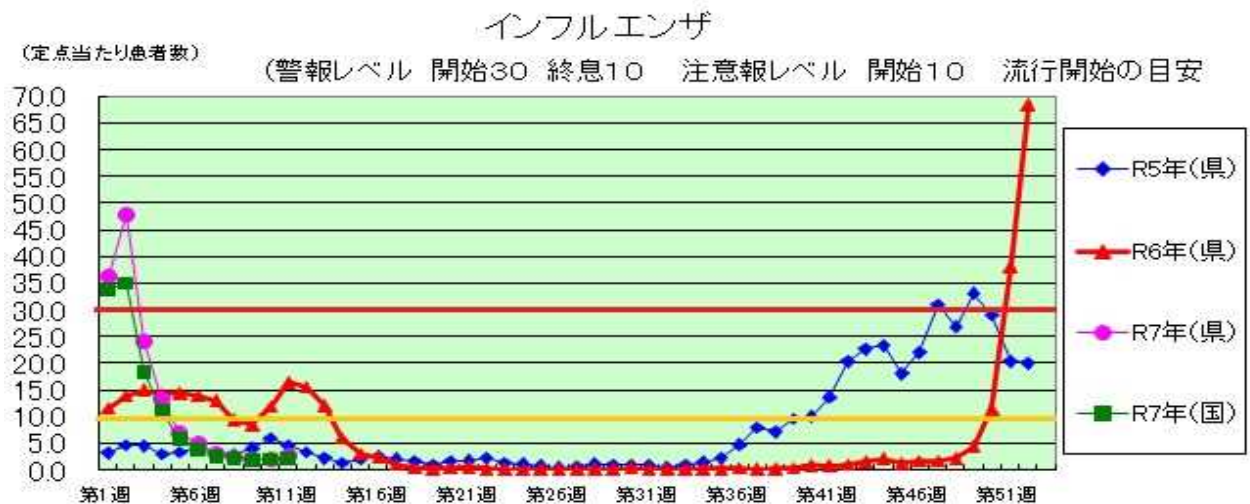
(2025年3月21日公開)

インフルエンザの警報レベルは終息しましたが、流行が続いています(定点当たり患者数は2.57)

インフルエンザは、第5週(1/27～2/2)に定点当たり患者数が6.86となり、警報レベルの終息基準である10を下回りました。第11週(3/10～3/16)定点当たり患者数は2.57です。

しかしながら、依然として1以上の流行レベルが続いており、定点医療機関からのコメントでは、B型インフルエンザ陽性件数の方がA型より多くなっていますので、B型による流行再拡大も懸念されます。引き続き、県民の皆様には、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に努めていただきますようお願いいたします。

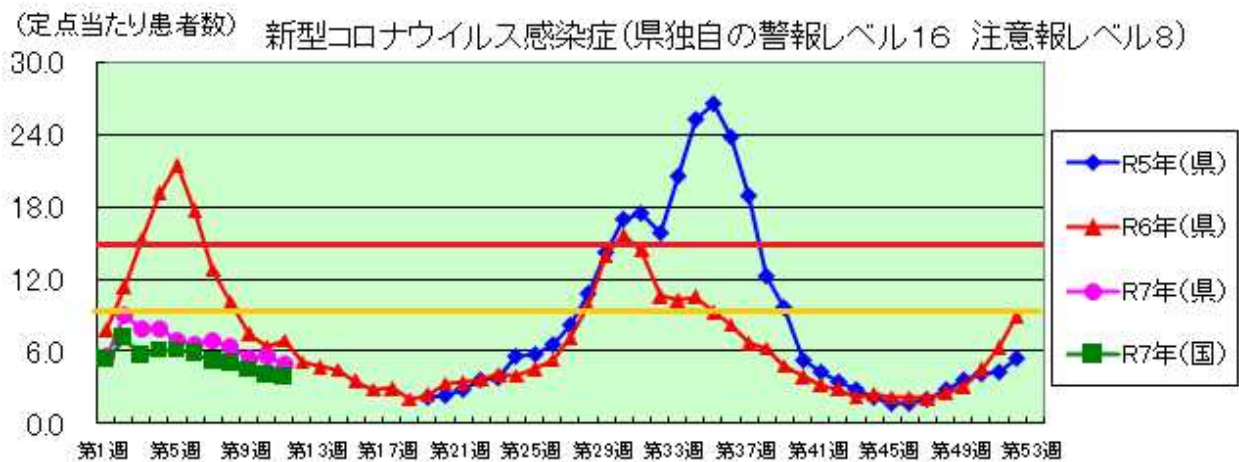
※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内139の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を施設数139で割った数値です。※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。



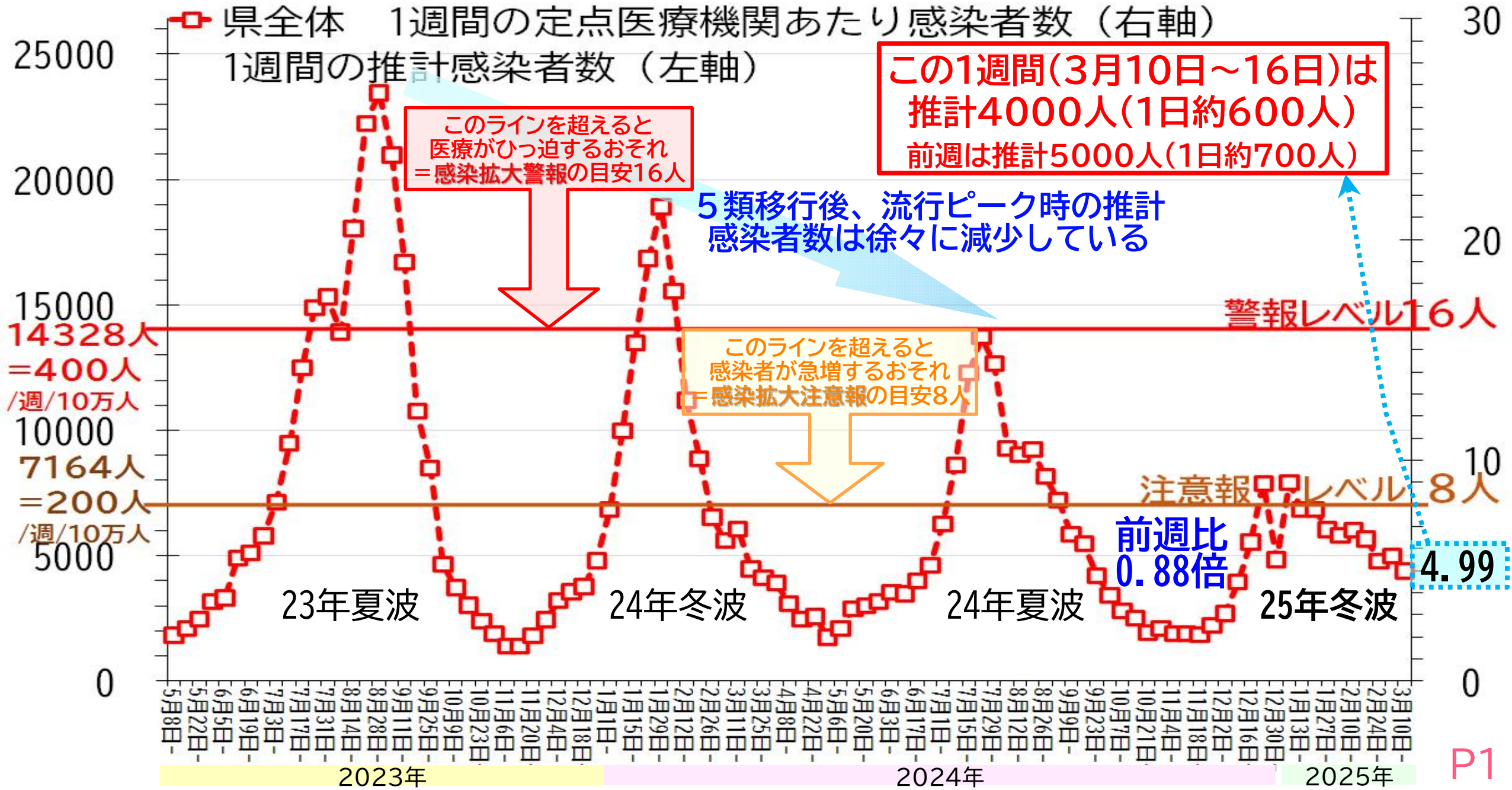
新型コロナウイルス感染症は定点当たり患者数 6 付近が続いています

第3週(1/13～1/19)の定点当たり患者数は 7.77 と注意報基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除しました。第11週(3/10～3/16)の定点当たり患者数は 4.99 となっており、第3週以降、定点当たり8人台から5人台へゆっくり下がってきました。

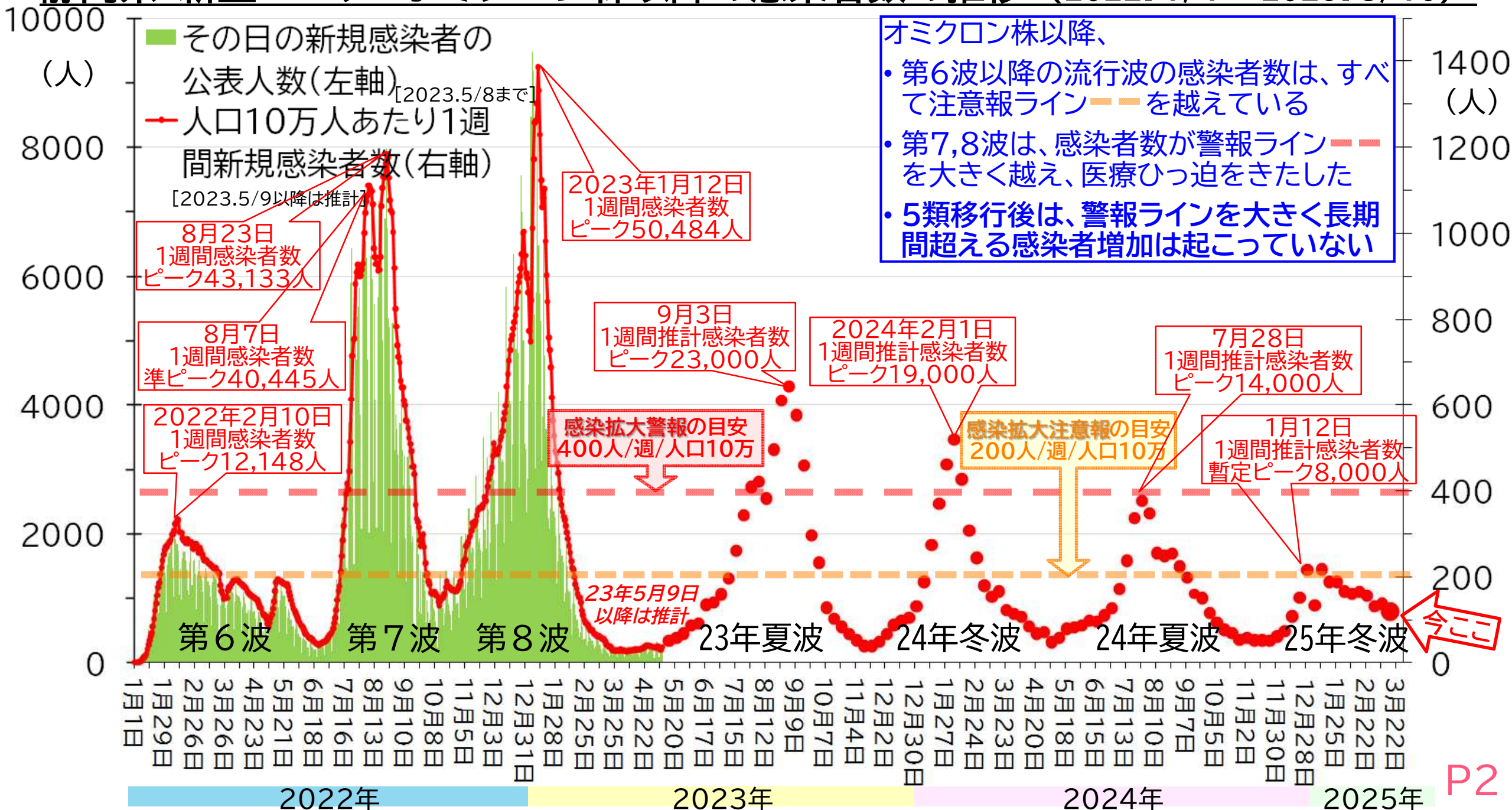
定点当たり6人前後の流行が、もう数週間程度続くことが考えられますので、県民の皆様には、引き続き、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に努めていただくとともに、高齢者でこの秋冬に未接種の方はワクチン接種を検討していただくようお願いします。



静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2025.3/16)



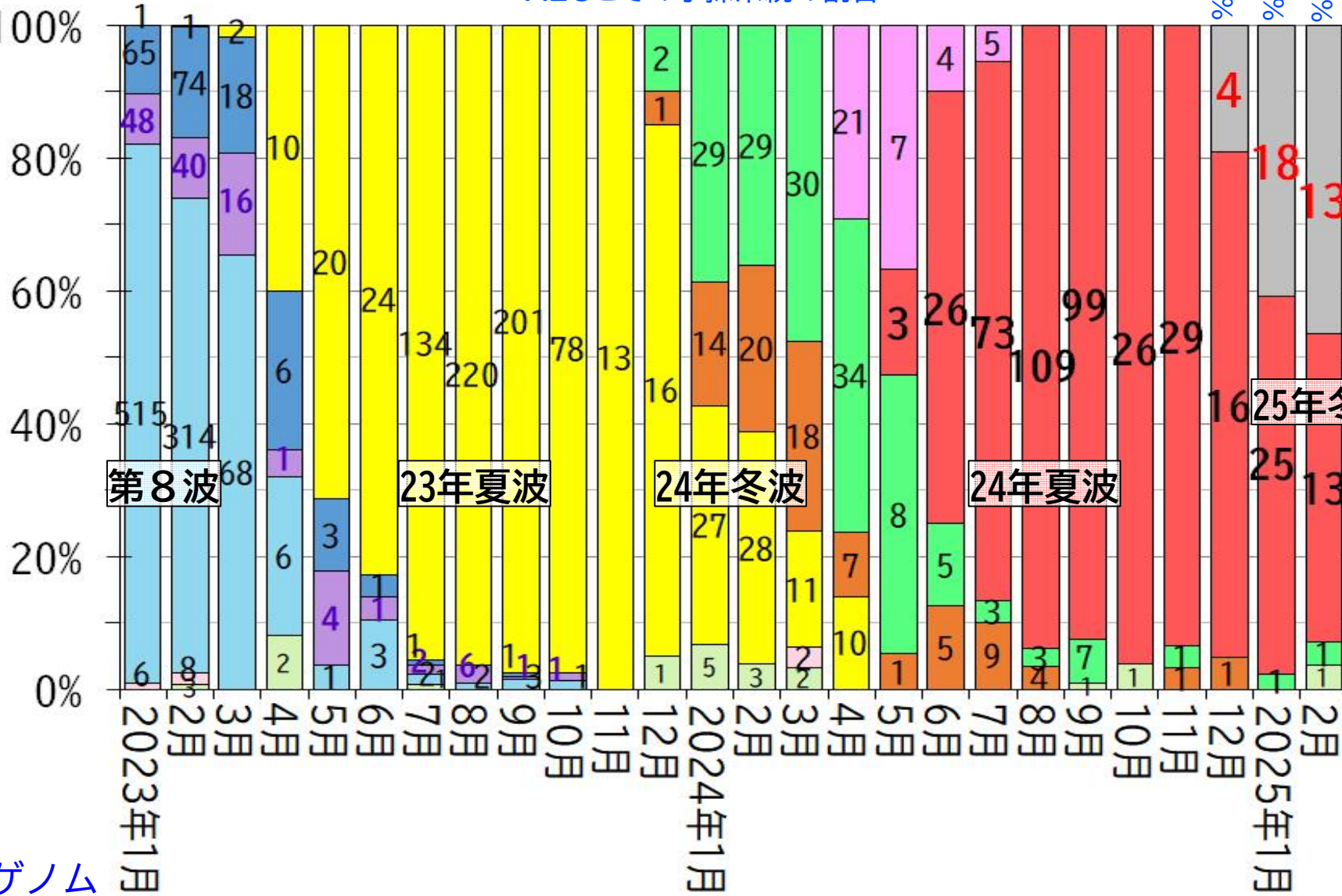
静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2025.3/16)



静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統 月別状況 (2023.1月～2025.2月)

〔政令市を含む県全体〕

KP.3とその子孫系統の割合
XECとその子孫系統の割合

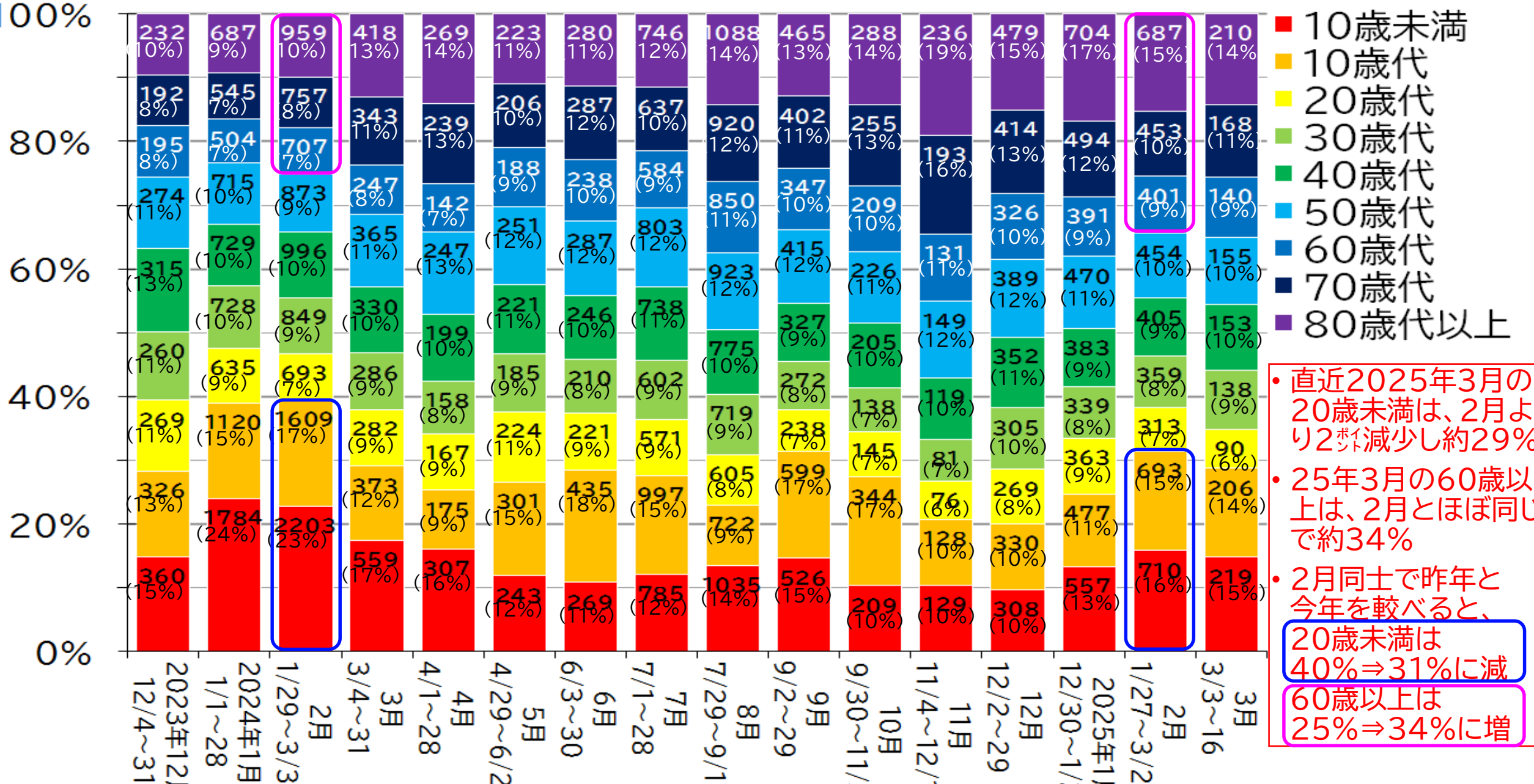


- 国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆されなどで、動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統等の検出状況を示す
- 直近(2025.1/27～2/23)では県全体で、**BA.2.86系統が14検体(50%)**検出され(うち**KP.3系統が13検体(46%)**)、残りは**XEC系統が13検体(46%)**だった
- 検体採取は結果判明の約2週前

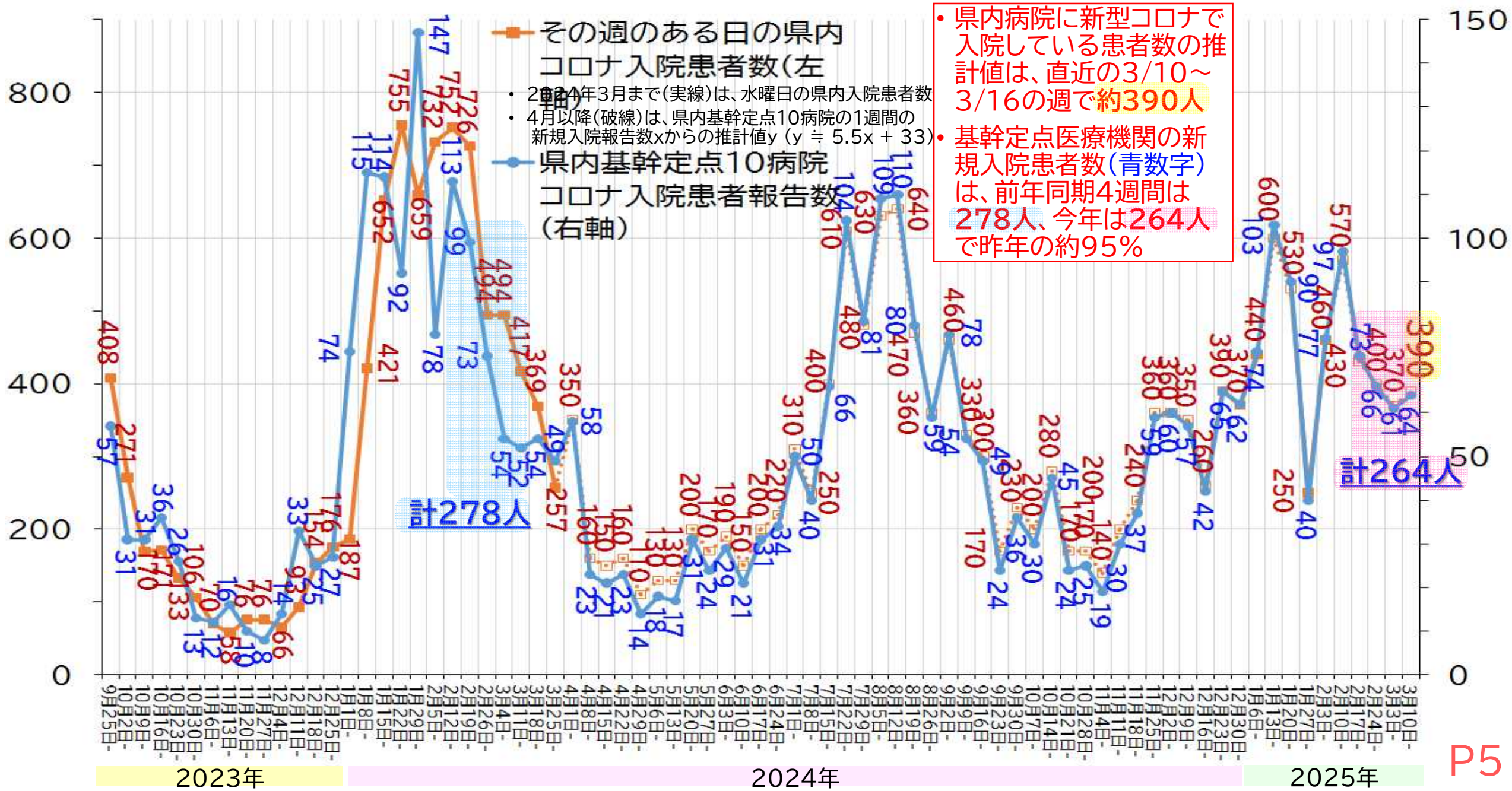
25年冬波

- XECとその子孫系統
- XDQ.1とその子孫系統
- KP.3とその子孫系統
- JN.1とその子孫系統
- JN.1, KP.3以外のBA.2.86系統
- XBB系統
- BQ.1系統
- BS.1系統
- BA.2.75系統
- その他のBA.5
- その他のBA.2
- その他の組替体

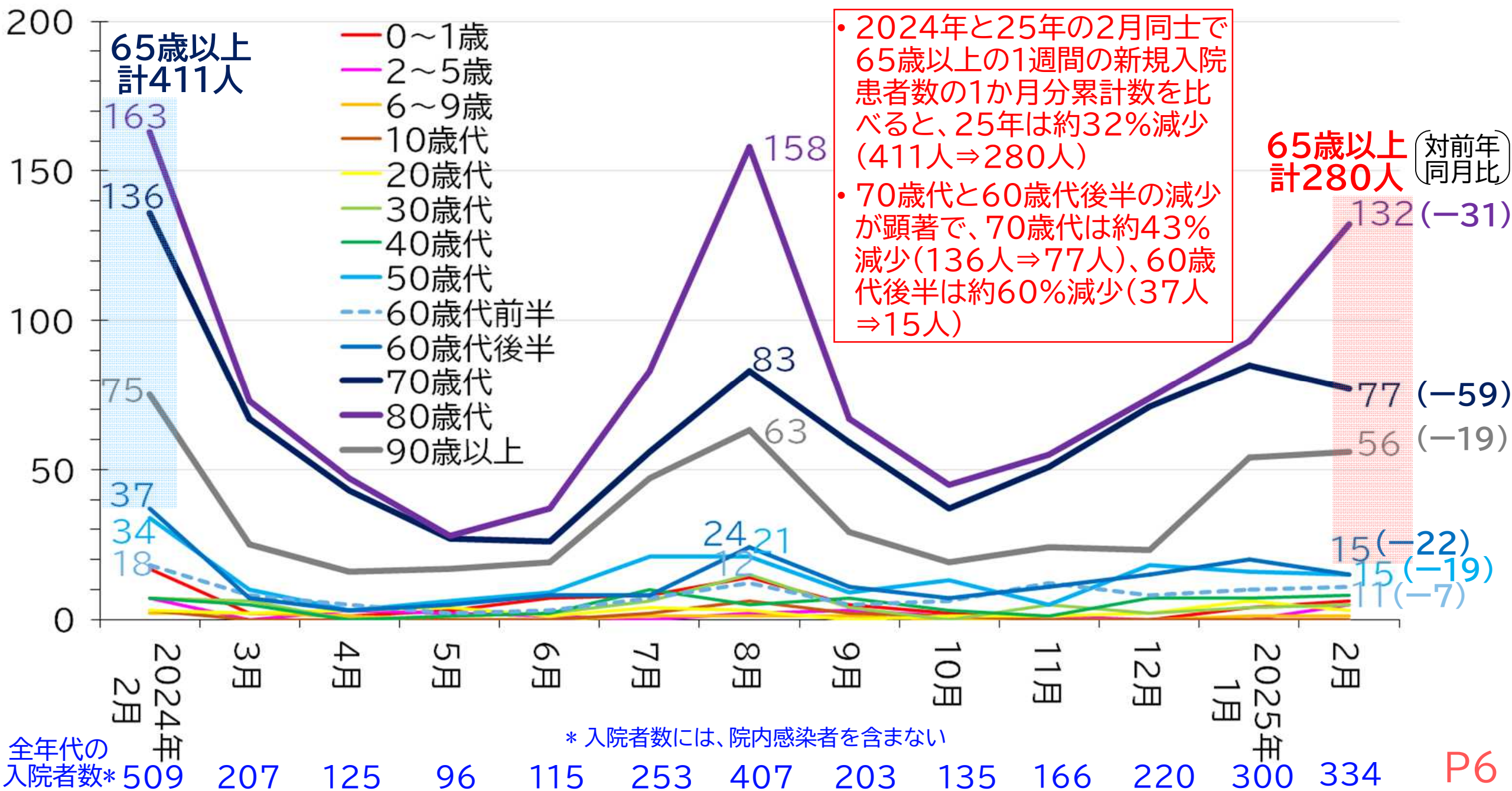
静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2023. 12/4~2025. 3/16)



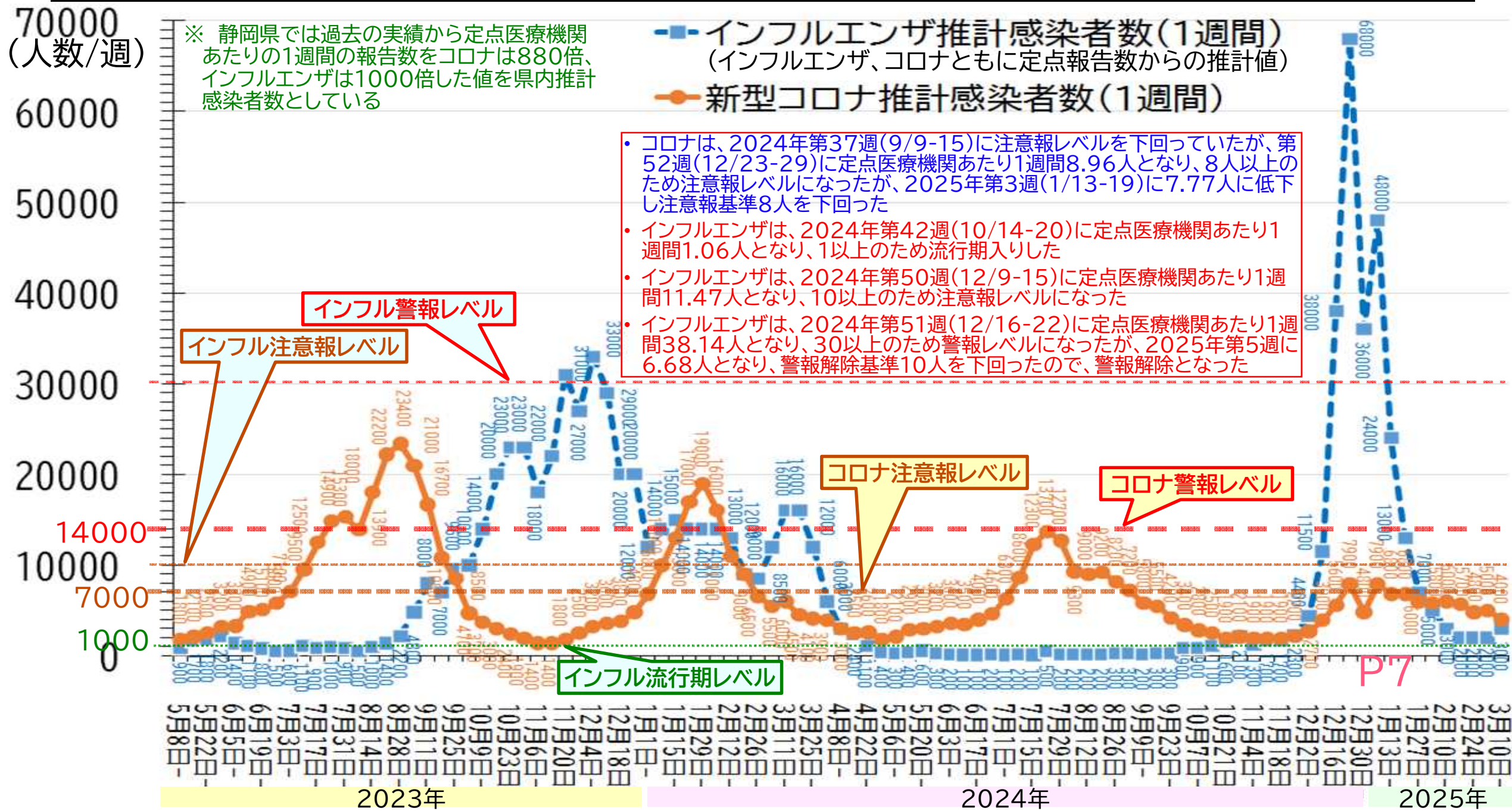
静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024. 4/1~2025. 3/16)



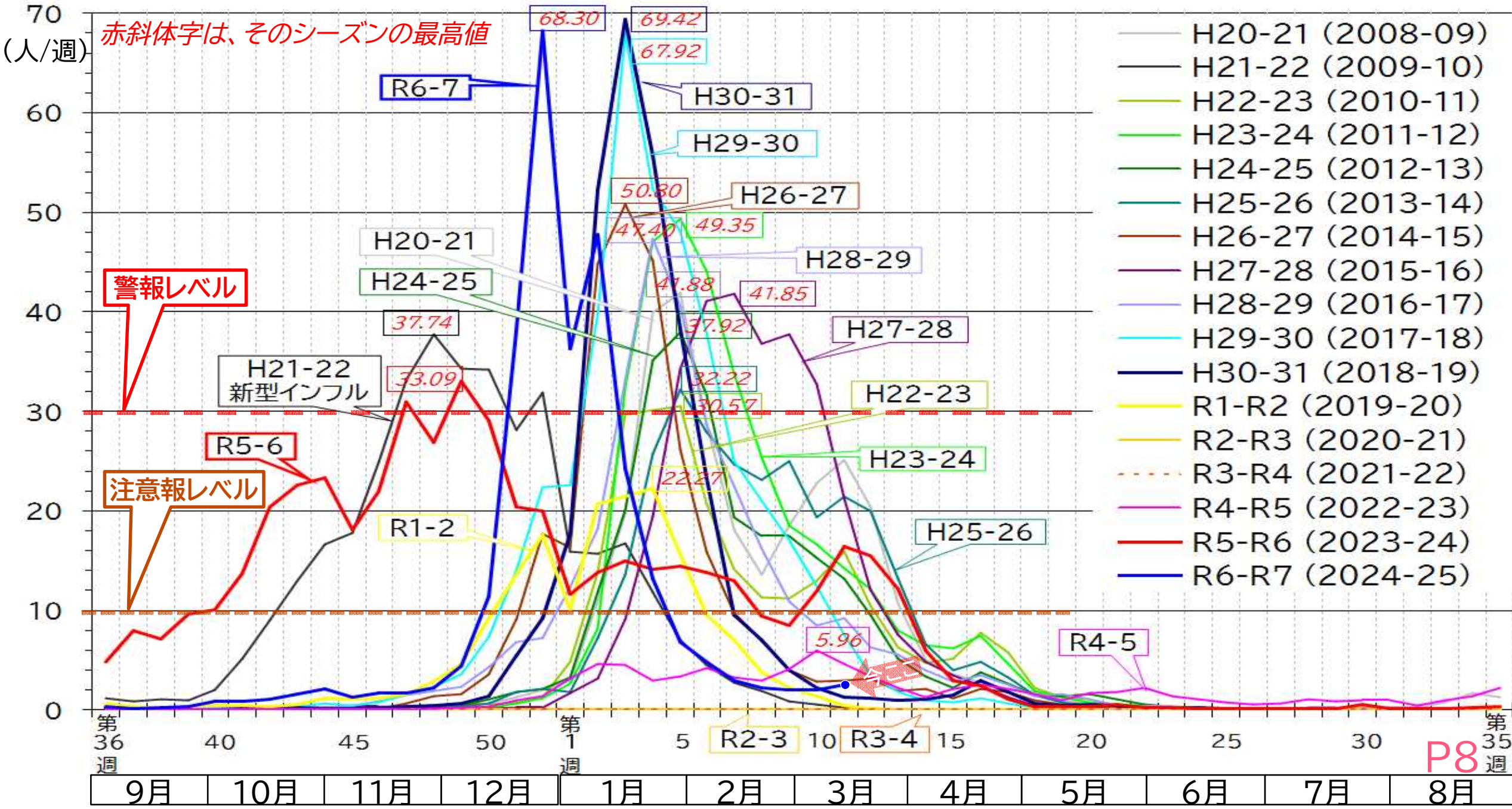
静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移 (2024.2月～2025.2月)



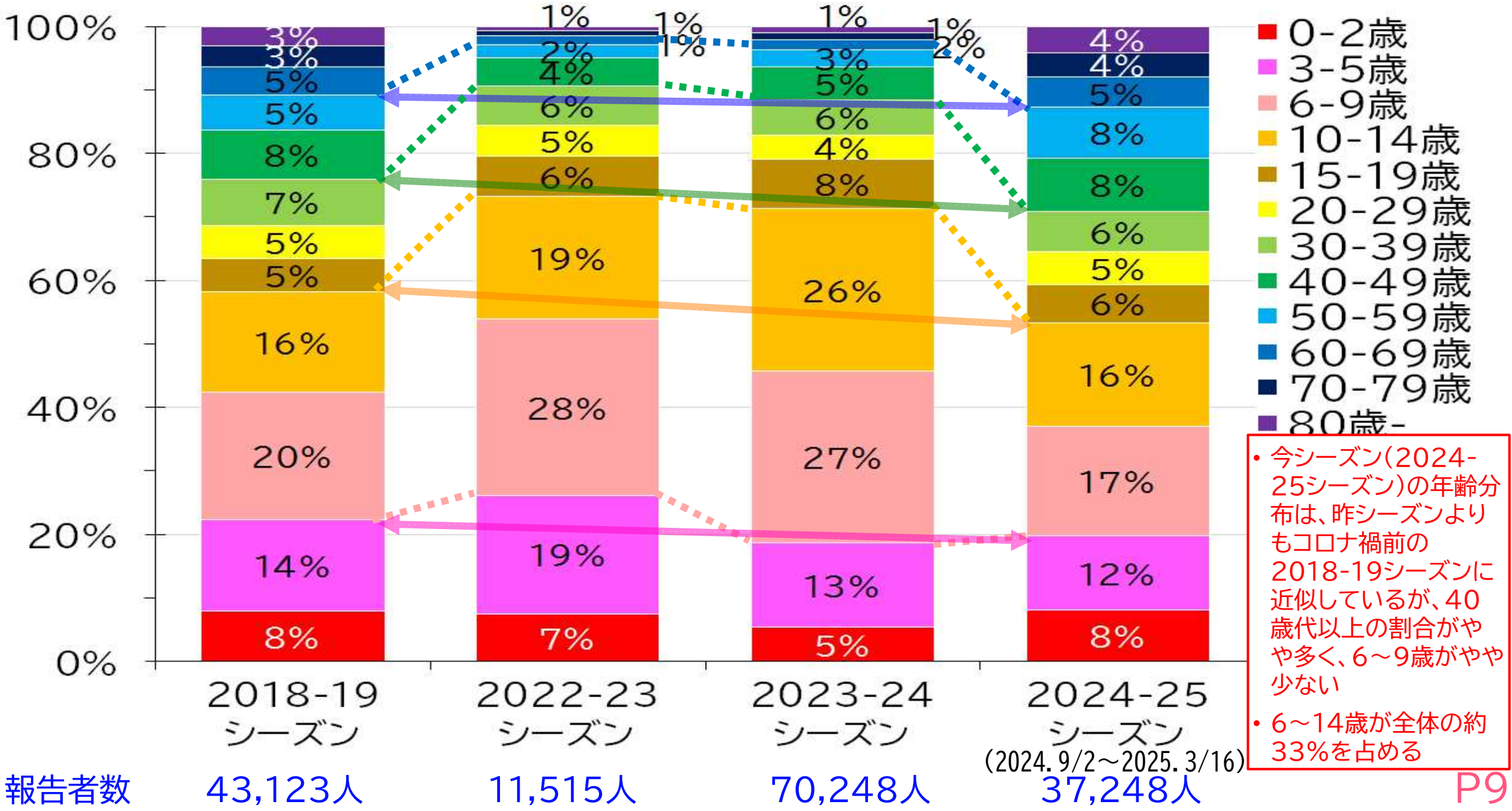
静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023.5/8~2025.3/16)



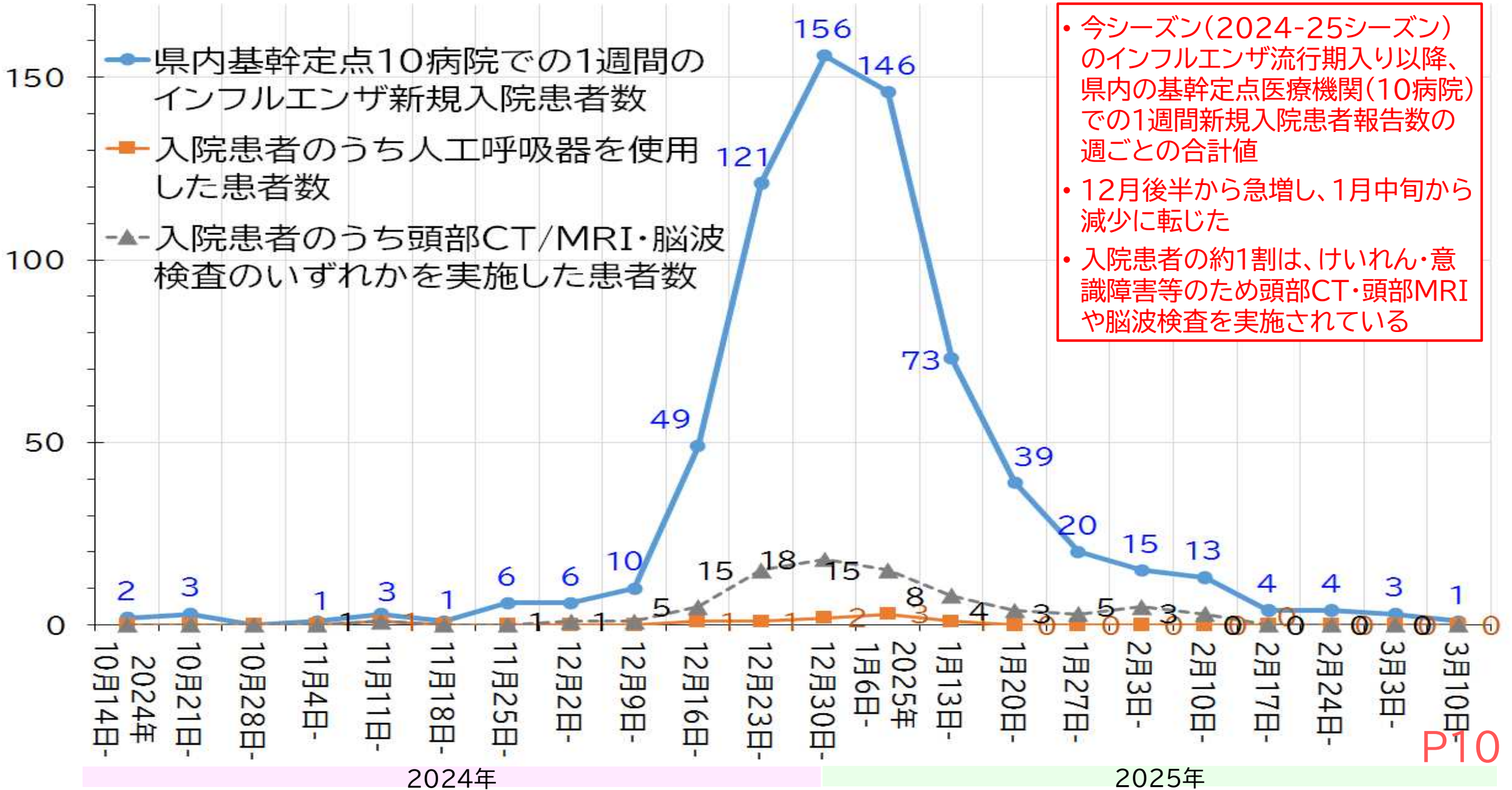
静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの報告数 今季と過去16季の比較



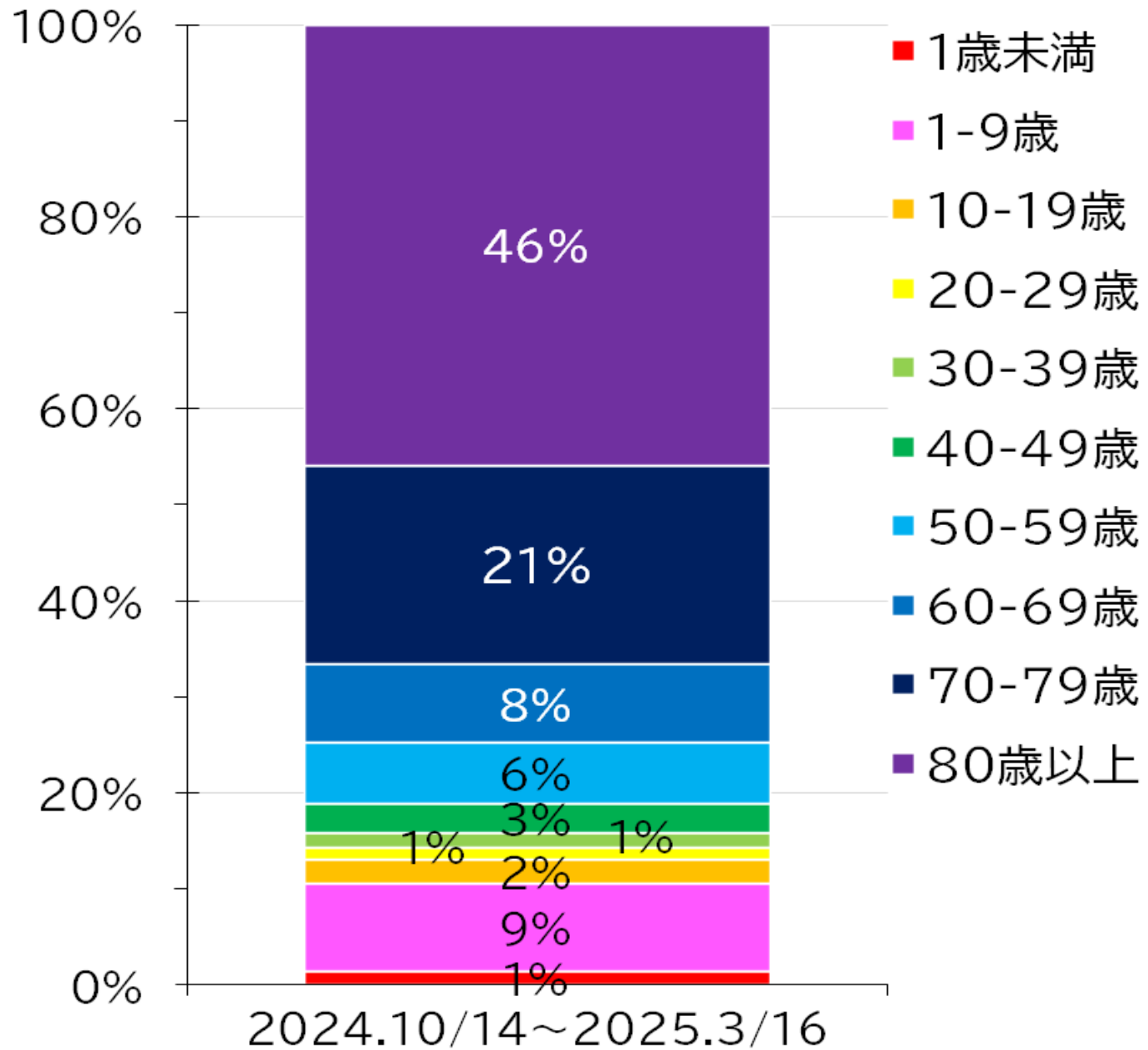
静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(コロナ後3季とコロナ前2018-19季の比較)



静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者数の推移 (2024.10/14~2025.3/16)

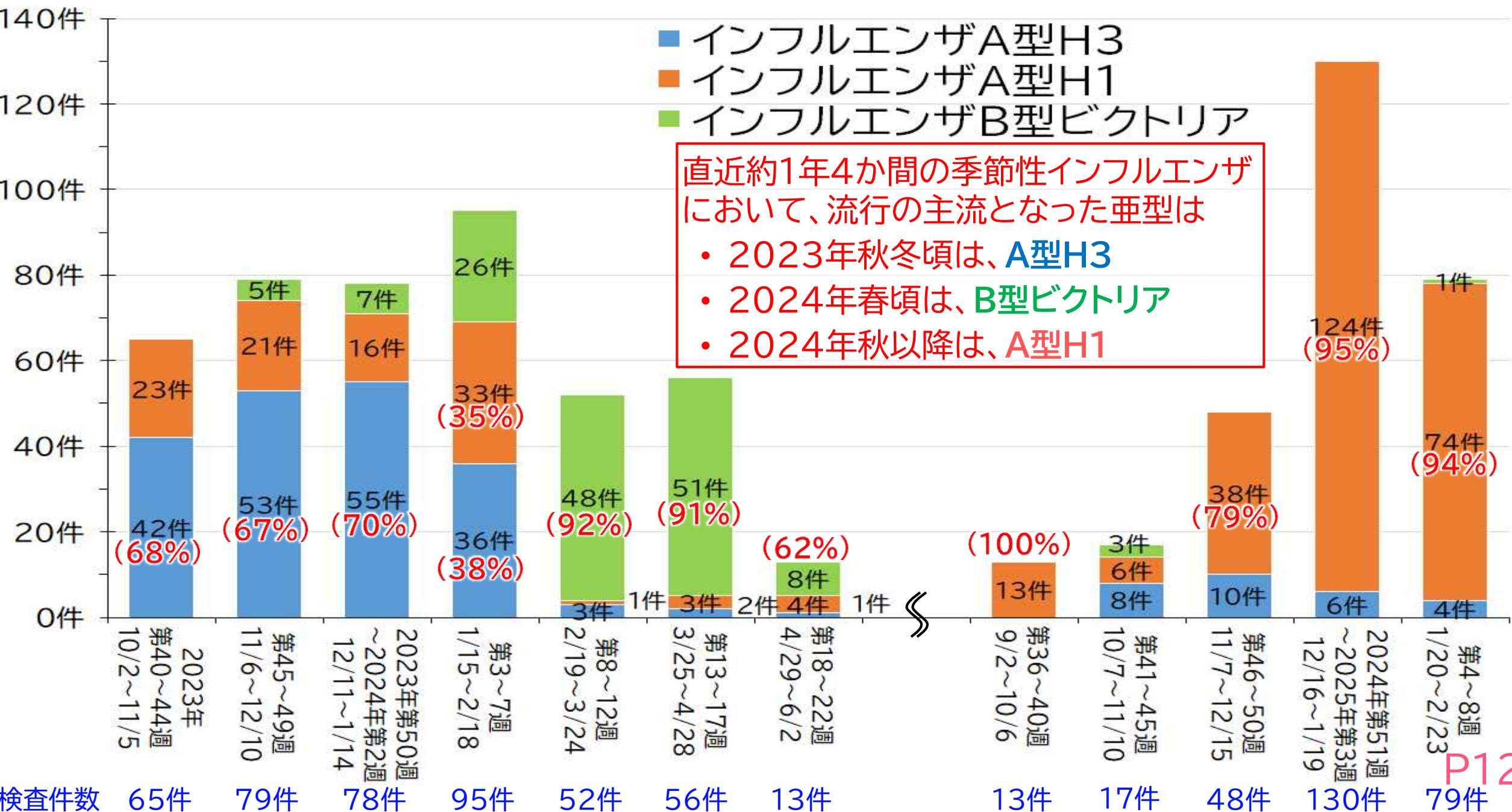


静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者年齢分布 (2024.10/14~2025.3/16)



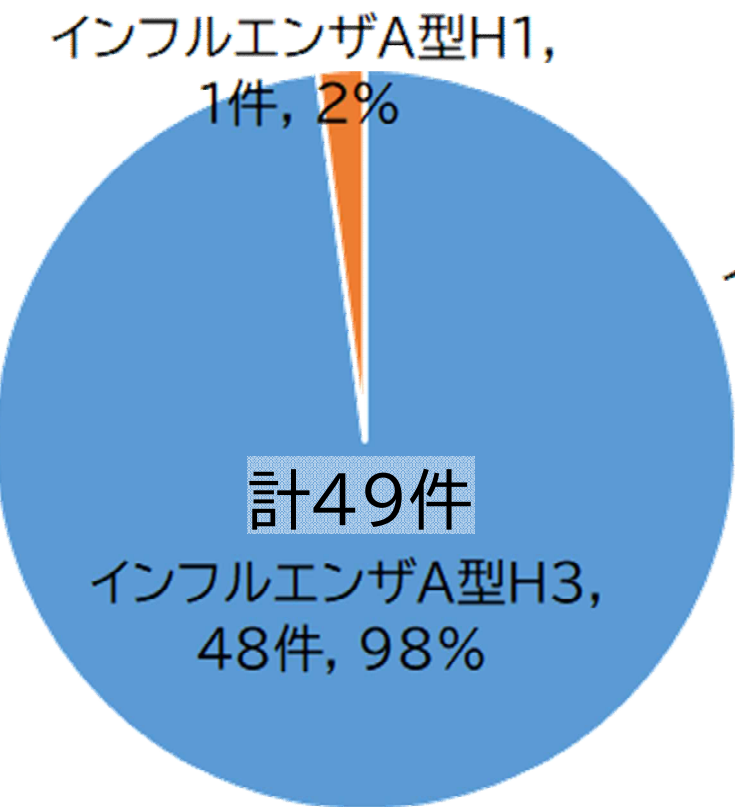
- 今シーズン(2024-25シーズン)のインフルエンザ流行期入り以降における、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者を累計した集団の年齢分布
- 80歳以上が全体の半数弱(46%)を占め、60歳以上が全体の約4分の3(75%)を占める
- 子どもの年代では1~9歳が多く、全体の1割に近い(9%)

静岡県内衛生研究所(県, 静岡市, 浜松市) インフルエンザウイルス型別検出の推移 (2023. 10/2~2025. 2/23)



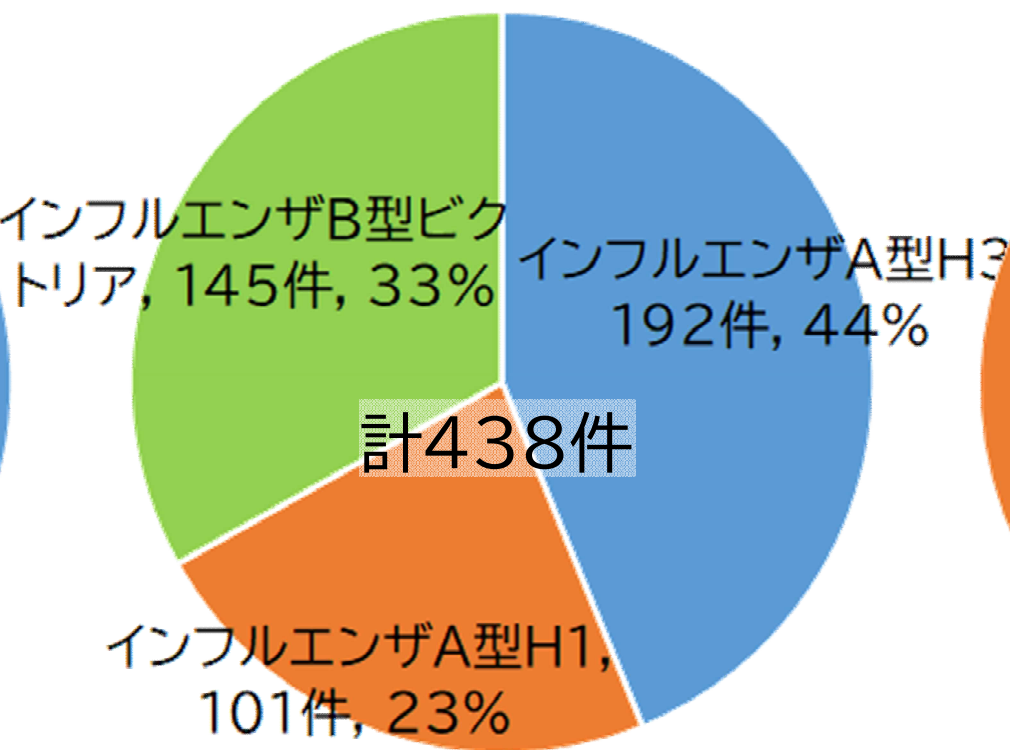
2022-23シーズン

2023年 第1~25週
(2023.1/2~6/25)



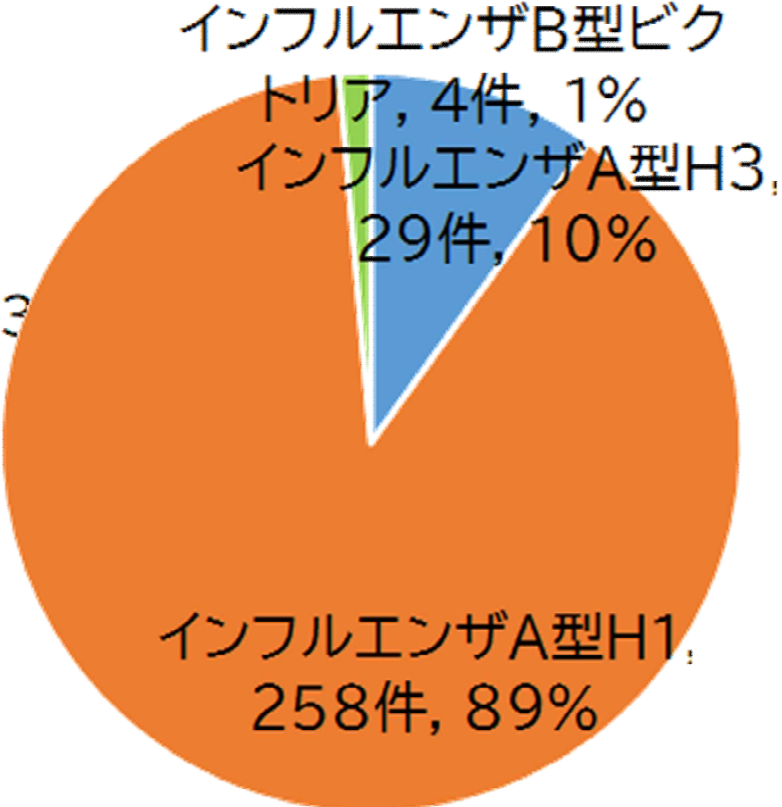
2023-24シーズン

2023年 第40~52週,
2024年 第1~22週
(2023.10/2~2024.6/2)



2024-25シーズン

2024年 第36~52週,
2025年 第1~11週
(2024.9/2~2025.3/16)



・ 2024年秋からの季節性インフルエンザは、インフルエンザA型H1が主体で流行が始まり、約90%を占めている



静岡県独自の新型コロナ注意報・警報

感染拡大警報

(2023夏の波)8/4～17, 8/25～9/28

(2024冬の波)2/2～21

(2024夏の波)警報なし

感染拡大注意報



(2023夏の波)7/14～8/3, 8/18～24, 9/29～10/12

(2024冬の波)1/19～2/1, 2/22～3/7

(2024夏の波)7/19～9/19

(2025冬の波)1/9～1/23

この冬の**コロナ患者**さんでは
高齢者の入院患者さんが
まだ多い状況です！

・**65歳以上の方**

・**60～64歳で持病があり、主治医が勧める方**



コロナワクチン 検討を！！

急病センターや**当番医**を受診



しよつか迷ったら...



救急車を呼ぼうか迷ったら...

15歳以上は **#7 1 1 9**

15歳未満は **#8 0 0 0 0**



で電話相談を!

RS ウイルス感染症が流行入りしました(定点当たり患者数は

1.02)

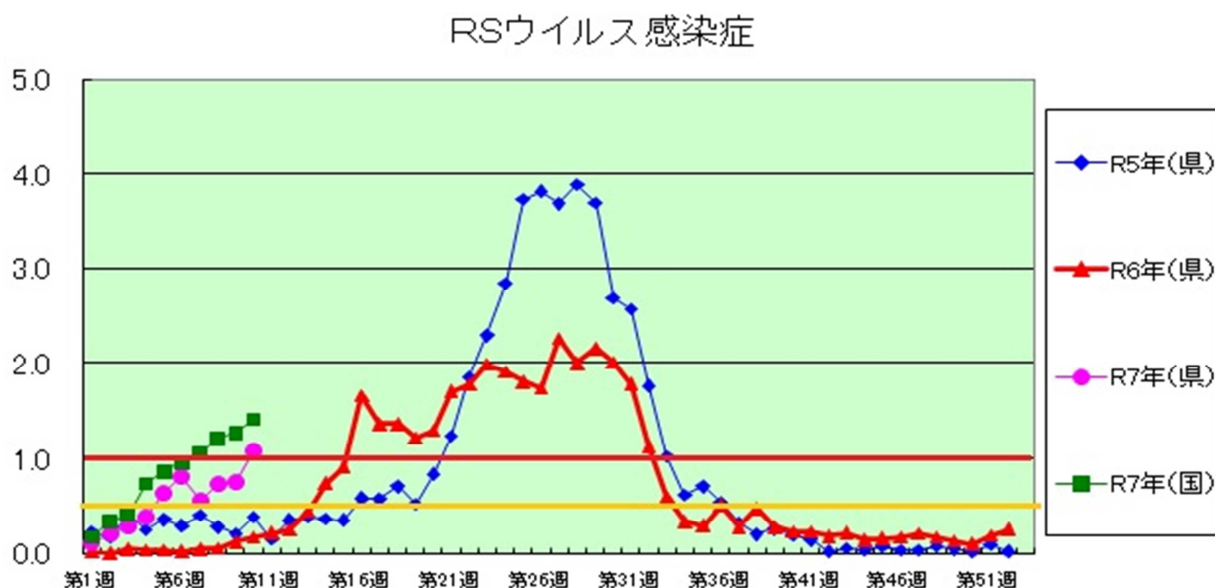
RSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数が、第 10 週において 1.07 人と1を超えましたので、県は流行期に入ったと判断しました(RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では 0.5 で「流行が始まる可能性あり」、1 以上で「流行期に入っている」と考えています。)

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数は、第 5 週(1 月 27 日～2 月 2 日)に 0.64 で、0.5 を超え、その後も 0.5～0.8 台を推移していました。県内の患者の年齢は、第 10 週では約 70%が 2 歳以下です。過去には、いったん 1以上となると、11～18 週間1以上の流行が続いています。なお、昨年 2024 年に1以上だった期間は、第 16 週(4 月 15 日～21 日)から第 32 週(8 月 5 日～11 日)までの 17 週間でした。

RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約 5 日、人にうつす感染期間は発症後約 1 週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ゼーゼー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に 2 か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約 30 人に 1 人は入院するという報告もあります)。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やゼーゼーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

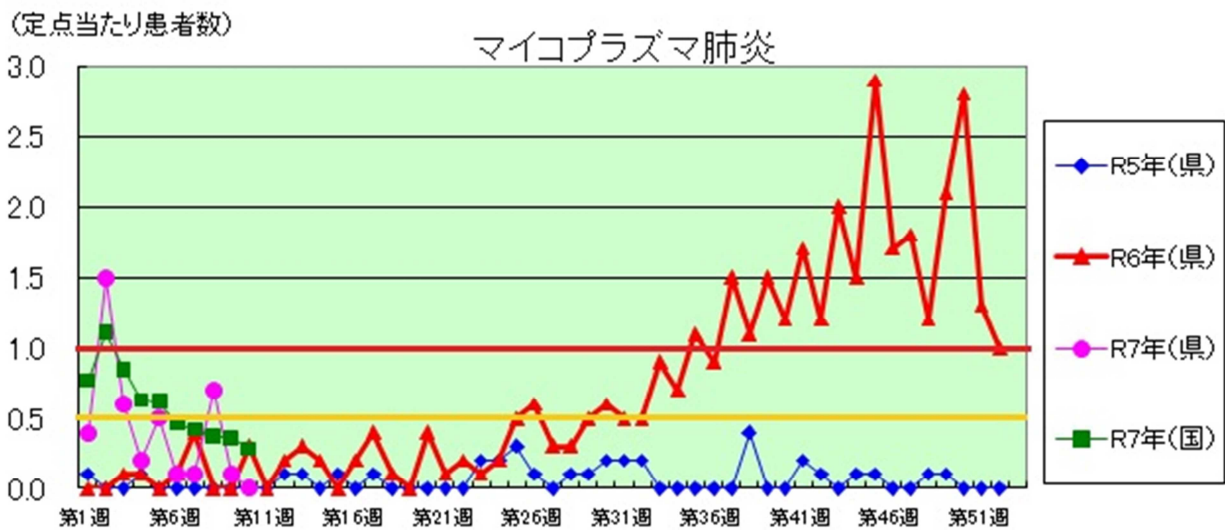


マイコプラズマ肺炎が流行しています

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起こります。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

024年第29週(7/15～7/21)以降、定点当たり患者数※0.5以上が続き、第35週(8/26～9/1)は1.1となりました。(第11週(3/10～3/16)は0.3)国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。(県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2019年第51週(12/16～12/22)以来です。)今年2025年に入ってから、第3週(1月13日～19日)に1.5まで情報しましたが、その後は0.5前後で推移しています。

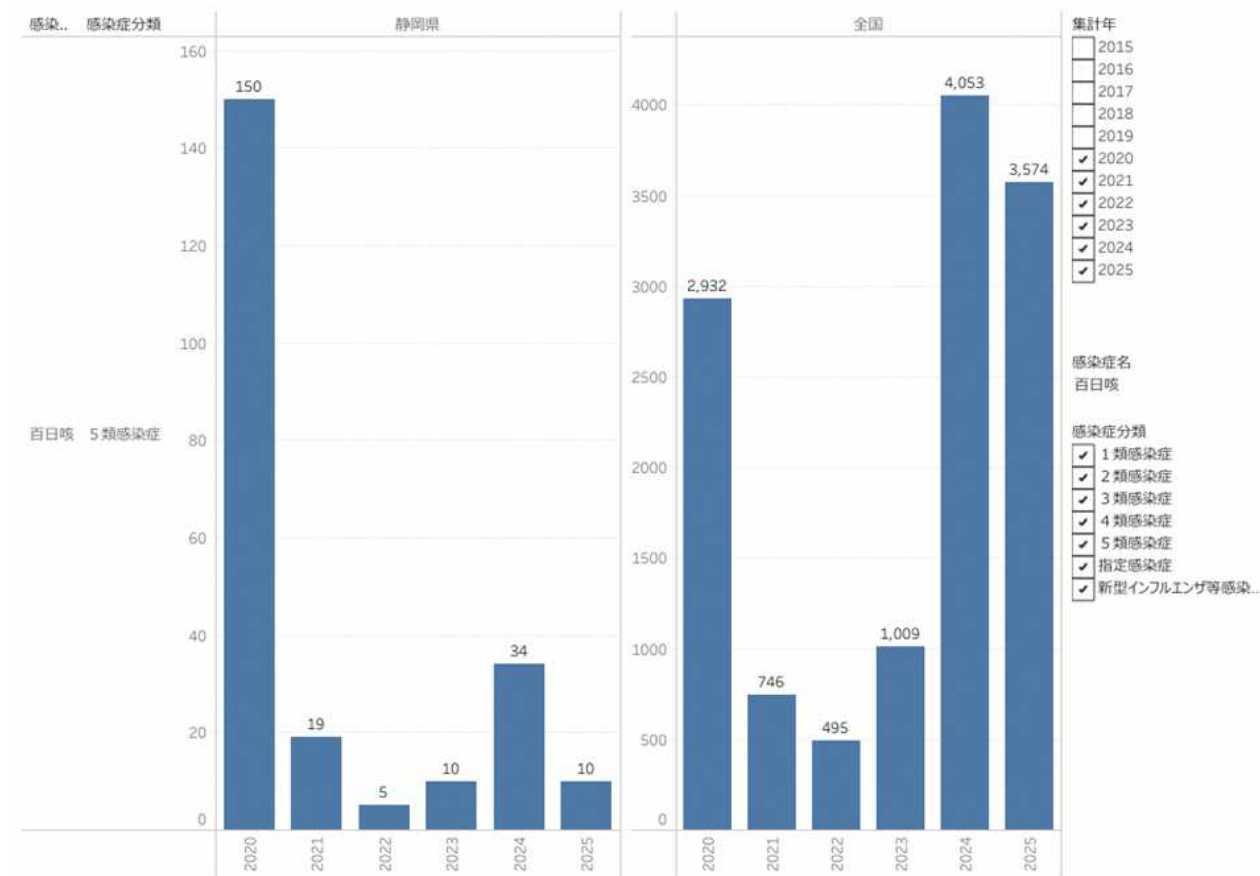
マイコプラズマ肺炎の過去の流行では、1,2年間にわたって患者数が多い期間が続いていますので、県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。



今後流行が懸念される感染症①～百日咳～

第6週(2/3～)以降、1週間に1～2人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなっています。コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

全数把握感染症年別累計



今後流行が懸念される感染症②～伝染性紅斑～

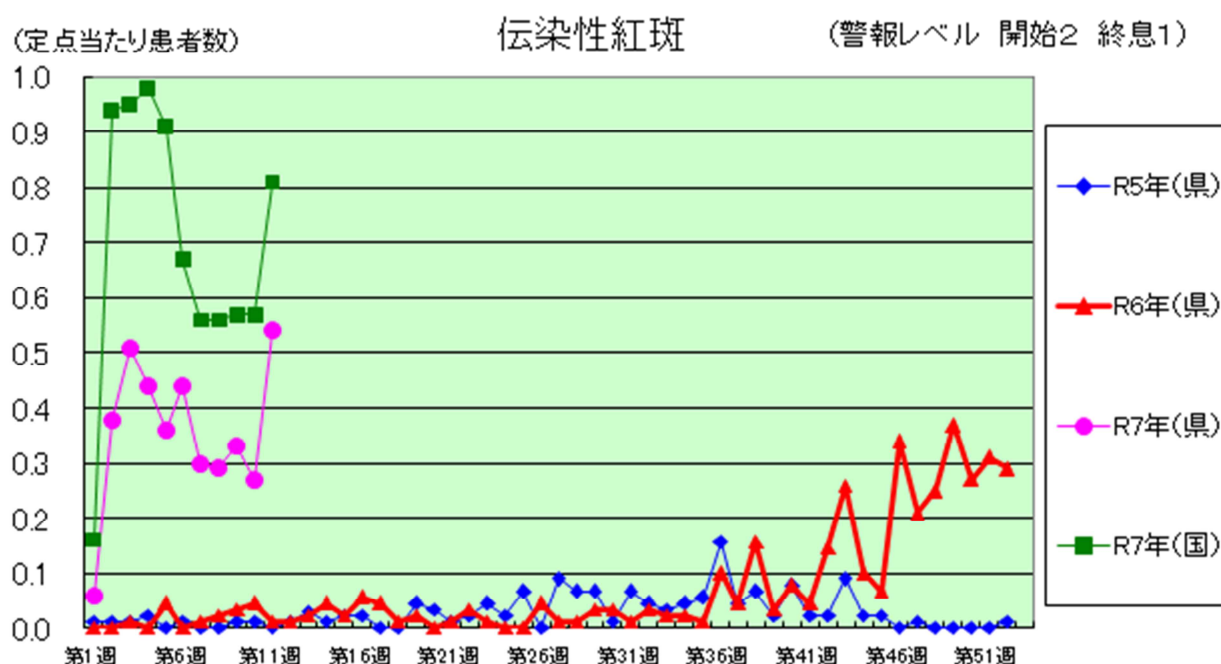
伝染性紅斑が、第3週(1月13日～19日)の0.51以来、第11週も0.54となり、今年に入って2回目の0.5超えとなりました。

県は、伝染性紅斑が流行間近と判断しています。(伝染性紅斑には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では0.5で「流行が始まる可能性あり」、1以上で「流行期に入っている」と考えています。)

直近の県内では、伝染性紅斑にかかる人は3～9歳の子どもが主になっています。子どもがかかっても、軽い風邪症状のあと、両頬や腕に淡いピンクの発疹が出ては消えるだけのことがほとんどで心配は要りません。

妊婦さんがかかると赤ちゃんがしんどくなることがありますので、妊婦さんで多数の子どもに接する方は、かからないようにマスク着用が望ましいです。

家族が伝染性紅斑になった場合、妊婦さんは産科医院に相談してください。



◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(東部(1)、富士(1)、西部(2))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 報告なし
- 5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症(東部(1)、西部(1))
梅毒(東部(1)、富士(1)、西部(2)、浜松市(2))
バイコマイシン耐性腸球菌感染症(東部(1))

2 保健所別の警報状況

警 報 感染性胃腸炎(御殿場)、インフルエンザ(御殿場)
注意報 なし

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症(県独自)		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

感染症発生動向調査
令和7年第11週(3/10～3/16)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

「ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

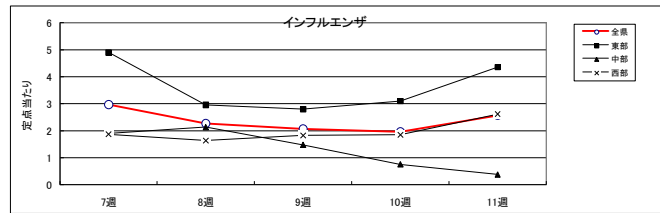
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第11週(3/10～3/16)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数は2. 57人となり、前週の1. 97人から増加しました。新型コロナの定点当たり報告数は4. 99人となり、前週の5. 65人から減少しました。

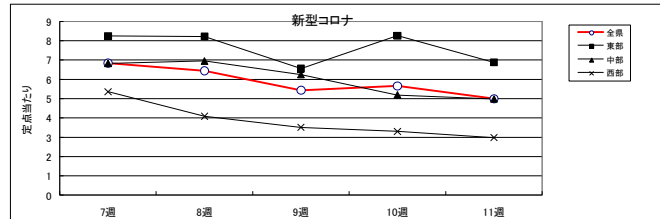
【インフルエンザ】

全県で罹患数357、定点当たり2.57の患者発生があり、前週の1.97から増加した。定点当たり東部地区で4.36中部地区で0.38、西部地区で2.62の患者が発生した。



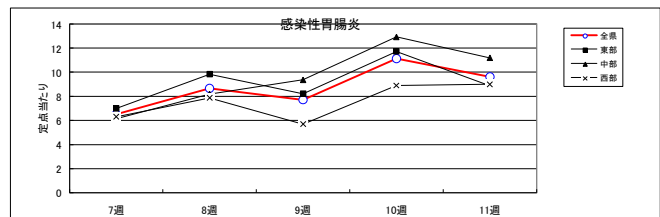
【新型コロナ】

全県で罹患数693、定点当たり4.99の患者発生があり、前週の5.65から減少した。定点当たり東部地区で6.88、中部地区で4.98、西部地区で2.98の患者が発生した。



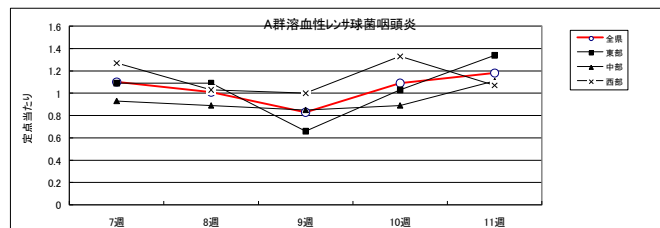
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数856、定点当たり9.62の患者発生があり、前週の11.13から減少した。定点当たり東部地区で8.88、中部地区で11.19、西部地区で9の患者が発生した。



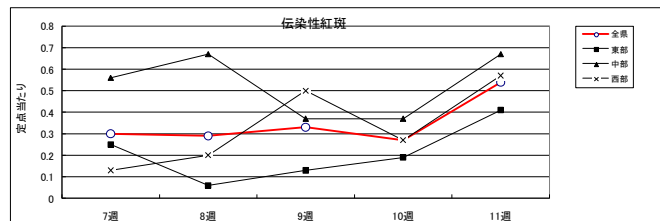
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数105、定点当たり0.92の患者発生があり、前週の1.09から増加した。定点当たり東部地区で1.34、中部地区で1.11、西部地区で1.07の患者が発生した。



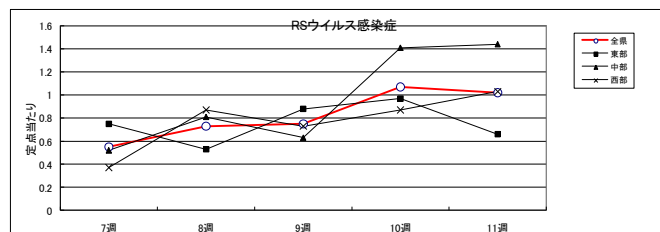
【伝染性紅斑】

全県で罹患数48、定点当たり0.54の患者発生があり、前週の0.27から増加した。定点当たり東部地区で0.41、中部地区で0.67、西部地区で0.57の患者が発生した。



【RSウイルス感染症】

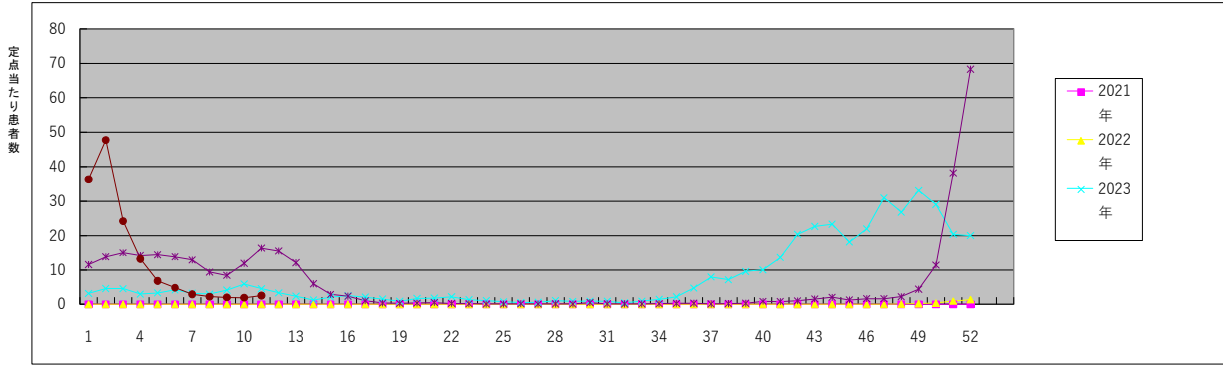
全県で罹患数91、定点当たり1.02の患者発生があり、前週の1.07から僅かながら減少した。定点当たり東部地区で0.66、中部地区で1.44、西部地区で1.03の患者が発生した。



【その他】

- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は2.23で前週の2.02から増加した。警報レベルの保健所を有する都道府県は1から2に増加、注意レベルの保健所を有する都道府県は4から6に増加した。
- ・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は3.85で前週の4.07から減少した。
- ・静岡県において第11週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)感染性胃腸炎 (9.62)、2)新型コロナ (4.99)、3)インフルエンザ(2.57)、4)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (1.18)、5)RSウイルス感染症(1.02)、6)伝染性紅斑 (0.54)であった。

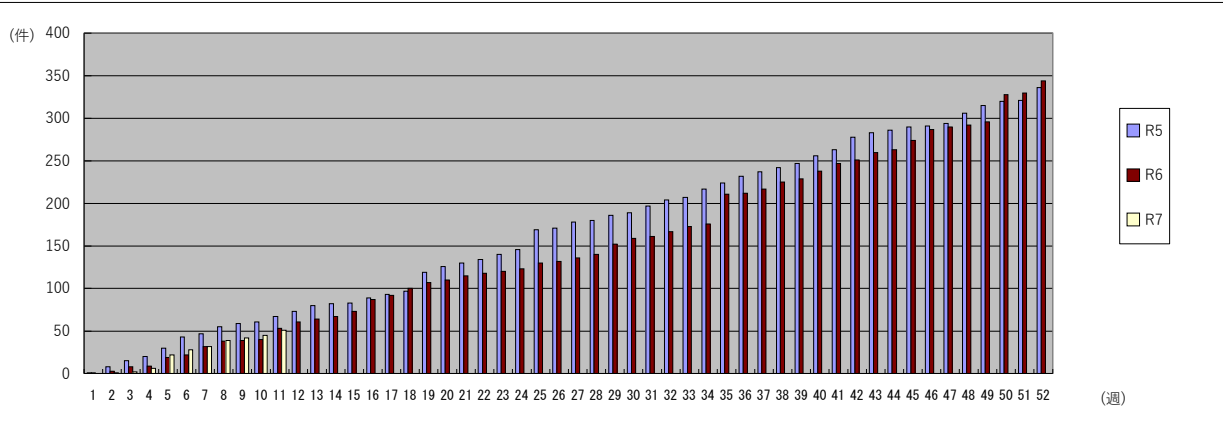
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2024/2025シーズン)】 (令和6年第36週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R6年 第36週～第40週	静岡県	13			
	静岡市				
	浜松市				
R6年 第41週～第45週	静岡県	3	8		
	静岡市	1			3
	浜松市	2			
R6年 第46週～第50週	静岡県	20	8		
	静岡市	11	1		
	浜松市	7	1		
R6年 第51週～第52週	静岡県	17	1		
	静岡市	39	1		
	浜松市	18	2		
R7年 第1週～第5週	静岡県	19	3		
	静岡市	24			
	浜松市	25	2		
R7年 第6週	静岡県	1			
	静岡市				
	浜松市	4			
R7年 第7週	静岡県	3	1		
	静岡市	24			
	浜松市	1			
R7年 第8週	静岡県				
	静岡市	23			1
	浜松市	1			
R7年 第9週	静岡県				
	静岡市	2			
	浜松市				
R7年 第10週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
R7年 第11週	静岡県		1		
	静岡市	1			
	浜松市				
合 計		259	29	0	4

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】
・第11週は前年同期比1倍であった。



◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(東部(1)、富士(1)、西部(2))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 報告なし
- 5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症(東部(1)、西部(1))
梅毒(東部(1)、富士(1)、西部(2)、浜松市(2))
バイコマイシン耐性腸球菌感染症(東部(1))

2 保健所別の警報状況

警 報 感染性胃腸炎(御殿場)、インフルエンザ(御殿場)
注意報 なし

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症(県独自)		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 11 週 令和7年3月10日 ～ 令和7年3月16日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	インフルエンザB型	140名
2	新型コロナウイルス感染症	113名
3	インフルエンザA型	36名

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
賀茂	かわづクリニック	マイコプラズマ肺炎	1	11歳女
熱海	高野医院	インフルエンザA型	1	
熱海	高野医院	インフルエンザB型	1	
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	10	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	RSウイルス感染症	5	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	17	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ノロウイルス	2	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	咽頭アデノ	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ヒトメタニューモ	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	腸管アデノ	1	
東部	よぎ小児科医院	伝染性紅斑	1	
東部	よぎ小児科医院	新型コロナウイルス感染症	3	
東部	よぎ小児科医院	咽頭アデノ	1	
御殿場	なかがわ医院	インフルエンザA型	2	
御殿場	なかがわ医院	インフルエンザB型	3	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザB型	34	
御殿場	安田内科小児科医院	新型コロナウイルス感染症	32	
御殿場	安田内科小児科医院	ヒトメタニューモ	3	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザB型	15	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザA型	4	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザB型	28	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	25	
富士	医療法人社団富岳会 小川小児科内科医院	インフルエンザA型	4	
富士	医療法人社団富岳会 小川小児科内科医院	インフルエンザB型	22	
富士	医療法人社団富岳会 小川小児科内科医院	新型コロナウイルス感染症	26	
富士	平野医院	インフルエンザB型	1	
静岡市	かどたこどもクリニック	ヒトメタニューモ	1	5歳男
西部	きもと小児科	インフルエンザA型	11	
西部	きもと小児科	インフルエンザB型	1	
西部	おおつ内科・小児科	インフルエンザA型	1	
西部	おおつ内科・小児科	インフルエンザB型	4	
西部	しむら内科・消化器クリニック	インフルエンザB型	1	
浜松市	浜松医療センター	ノロウイルス	1	
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	28	
浜松市	クリニック・パパ	咽頭アデノ	4	
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザB型	1	
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザA型	3	
浜松市	げんきこどもクリニック	インフルエンザB型	1	
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザB型	2	
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザA型	1	
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザB型	15	
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザA型	5	
浜松市	小児科竹内医院	インフルエンザB型	1	
浜松市	小児科竹内医院	インフルエンザA型	1	
浜松市	縣医院	インフルエンザA型	2	

第11週

		静岡県							全国				
		第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	今週	年累計	第6週	第7週	第8週	第9週	年累計
1類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核	4	2	5	2	7	4	71	223	215	206	235	2617
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザH5N1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザH7N9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	9
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1	0	1	0	4	27	18	11	22	270
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	8	12	12	15	93
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4類	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	2	5	5	2	32
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ギヤサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎臓熱性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	テングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	34
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	1	36
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニバウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	兔しんチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	野炭病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	2	0	1	0	0	16	26	32	31	35	346
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5類	アメーバ赤痢	0	1	0	0	0	0	3	6	10	5	8	97
	ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	1	0	0	0	1	3	1	7	3	44
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	19	28	26	33	384
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)	0	1	1	0	0	0	11	8	4	2	3	163
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	1	0	1	0	4	2	1	35
	創傷型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0	0	3	0	6	26	19	32	29	390
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	1	0	0	3	7	9	5	9	144
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	1	1	0	0	0	6	9	13	11	8	182
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	21
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	1	0	2	0	2	47	51	61	67	67	1087
	水痘(入院例に限る)	0	0	0	0	0	0	1	3	5	8	9	103
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	5	4	5	1	2	6	51	146	157	153	181	2672
	慢性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	2	3	2	2	2	35
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	19
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	0	1	2	0	1	1	2	16
	百日咳	2	2	1	2	0	0	10	358	353	482	561	3574
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	3	4	12	12	32
	薬剤耐性アシネタ・バクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4
	新型インフルエンザ等感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2024年 第 11 週

		静岡県							全国				
		第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	今週	計	第8週	第9週	第10週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	71	49	65	67	95	91	438	3,775	3,984	4,391	4,611	16,761
	咽頭結膜熱	21	10	11	39	17	14	112	909	774	904	883	3,470
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	112	98	90	74	97	105	576	7,616	6,097	7,291	7,273	28,277
	感染性胃腸炎	544	579	772	687	991	856	4,429	32,220	30,748	35,553	34,609	133,130
	水痘	10	10	15	4	5	5	49	833	784	833	844	3,294
	手足口病	2	3	2		2	3	12	174	157	156	147	634
	伝染性紅斑	39	27	26	29	24	48	193	1,744	1,777	1,793	2,516	7,830
	突発性発しん	17	11	22	12	15	20	97	623	565	628	670	2,486
	ヘルパンギーナ		1	1	1		1	4	17	28	38	37	120
	流行性耳下腺炎	2	5	1	2	2	1	13	100	112	120	121	453
小・内	インフルエンザ	676	413	315	288	274	357	2,323	10,866	9,302	9,941	10,960	41,069
	新型コロナウイルス感染症	920	951	895	755	786	693	5,000	24,343	21,790	20,041	18,927	85,101
眼科	急性出血性結膜炎								20	28	29	39	116
	流行性角結膜炎	4	8	8	3	8	10	41	565	509	576	625	2,275
基幹	細菌性髄膜炎	1		1	2	1	1	6	11	13	10	7	41
	無菌性髄膜炎			1				1	15	10	12	13	50
	マイコプラズマ肺炎	1	1	7	1		3	13	178	175	137	138	628
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								3	2		2	7
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								52	74	74	91	291

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。
※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2024年 第 11 週

		静岡県						全国			
		第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	今週	第8週	第9週	第10週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.80	0.55	0.73	0.75	1.07	1.02	1.21	1.27	1.41	1.48
	咽頭結膜熱	0.24	0.11	0.12	0.44	0.19	0.16	0.29	0.25	0.29	0.28
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	1.10	1.01	0.83	1.09	1.18	2.44	1.95	2.33	2.33
	感染性胃腸炎	6.11	6.51	8.67	7.72	11.13	9.62	10.32	9.83	11.38	11.10
	水痘	0.11	0.11	0.17	0.04	0.06	0.06	0.27	0.25	0.27	0.27
	手足口病	0.02	0.03	0.02		0.02	0.03	0.06	0.05	0.05	0.05
	伝染性紅斑	0.44	0.30	0.29	0.33	0.27	0.54	0.56	0.57	0.57	0.81
	突発性発しん	0.19	0.12	0.25	0.13	0.17	0.22	0.20	0.18	0.20	0.21
	ヘルパンギーナ		0.01	0.01	0.01		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	流行性耳下腺炎	0.02	0.06	0.01	0.02	0.02	0.01	0.03	0.04	0.04	0.04
小・内科	インフルエンザ	4.86	2.97	2.27	2.07	1.97	2.57	2.21	1.89	2.02	2.23
	新型コロナウイルス感染症	6.62	6.84	6.44	5.43	5.65	4.99	4.95	4.42	4.07	3.85
眼科	急性出血性結膜炎							0.03	0.04	0.04	0.06
	流行性角結膜炎	0.18	0.36	0.36	0.14	0.36	0.45	0.82	0.73	0.83	0.89
基幹	細菌性髄膜炎	0.10		0.10	0.20	0.10	0.10	0.02	0.03	0.02	0.01
	無菌性髄膜炎			0.10				0.03	0.02	0.02	0.03
	マイコプラズマ肺炎	0.10	0.10	0.70	0.10		0.30	0.37	0.36	0.28	0.29
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.01	0.00		0.00
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.11	0.15	0.15	0.19

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数＝定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。



Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

第 11 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	91	1.02	14	0.16	105	1.18	856	9.62	5	0.06
賀茂							5	2.50		
熱海	2	0.50			1	0.25	21	5.25		
東部	10	0.77	2	0.15	27	2.08	97	7.46	2	0.15
御殿場	4	1.00	3	0.75	5	1.25	111	27.75	1	0.25
富士	5	0.56			10	1.11	50	5.56		
静岡市	26	1.63	4	0.25	19	1.19	186	11.63	2	0.13
中部	13	1.18			11	1.00	116	10.55		
西部	10	0.83	2	0.17	11	0.92	79	6.58		
浜松市	21	1.17	3	0.17	21	1.17	191	10.61		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	3	0.03	48	0.54	20	0.22	1	0.01	1	0.01
賀茂					1	0.50				
熱海			3	0.75	3	0.75				
東部	1	0.08	1	0.08						
御殿場			3	0.75						
富士			6	0.67	3	0.33			1	0.11
静岡市			13	0.81	5	0.31				
中部	2	0.18	5	0.45	1	0.09				
西部			7	0.58	2	0.17	1	0.08		
浜松市			10	0.56	5	0.28				

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	357	2.57	693	4.99	8.0	16.0	89	50
賀茂	3	1.00	16	5.33	13.0	26.0	2	1
熱海	7	1.17	26	4.33	9.0	18.0	4	2
東部	7	0.35	79	3.95	8.0	16.0	13	7
御殿場	97	16.17	84	14.00	17.0	34.0	4	2
富士	104	6.93	139	9.27	11.0	22.0	9	6
静岡市	8	0.32	113	4.52	6.0	12.0	16	9
中部	8	0.47	96	5.65	8.0	16.0	11	6
西部	43	2.26	70	3.68	10.0	20.0	12	7
浜松市	80	2.86	70	2.50	7.0	14.0	18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

第 11 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		10	0.45	1	0.10	0		3	0.30
賀茂										
熱海									2	2.00
東部										
御殿場										
富士			1	0.33						
静岡市										
中部										
西部					1	1.00				
浜松市			9	3.00					1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

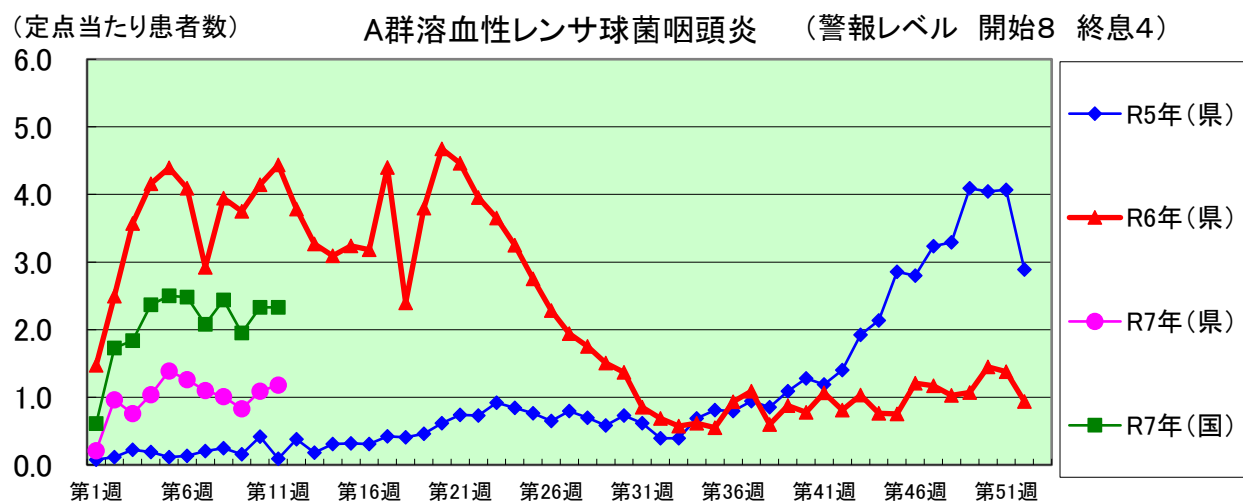
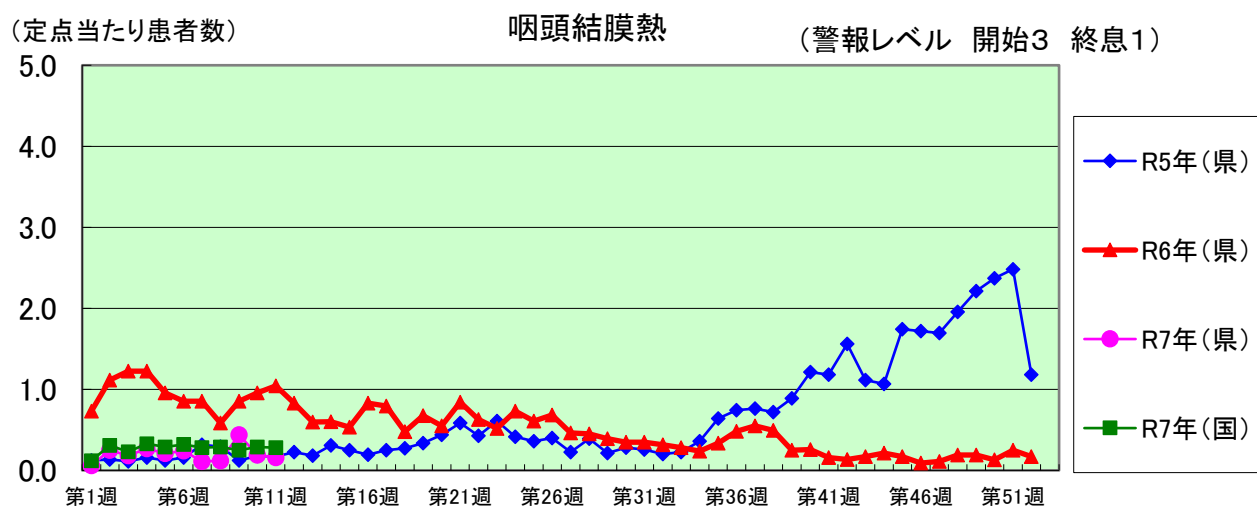
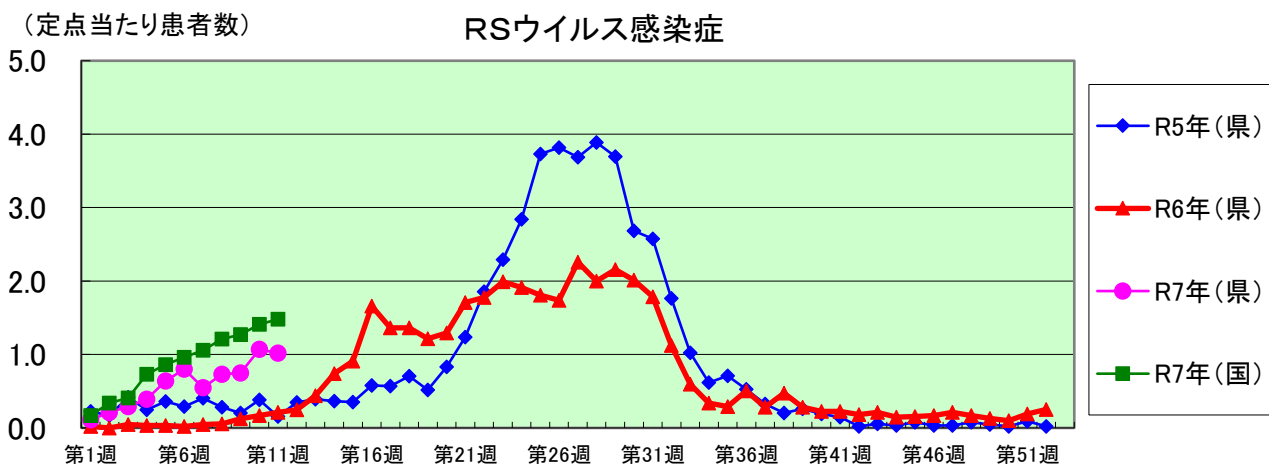
2024年 第 11 週

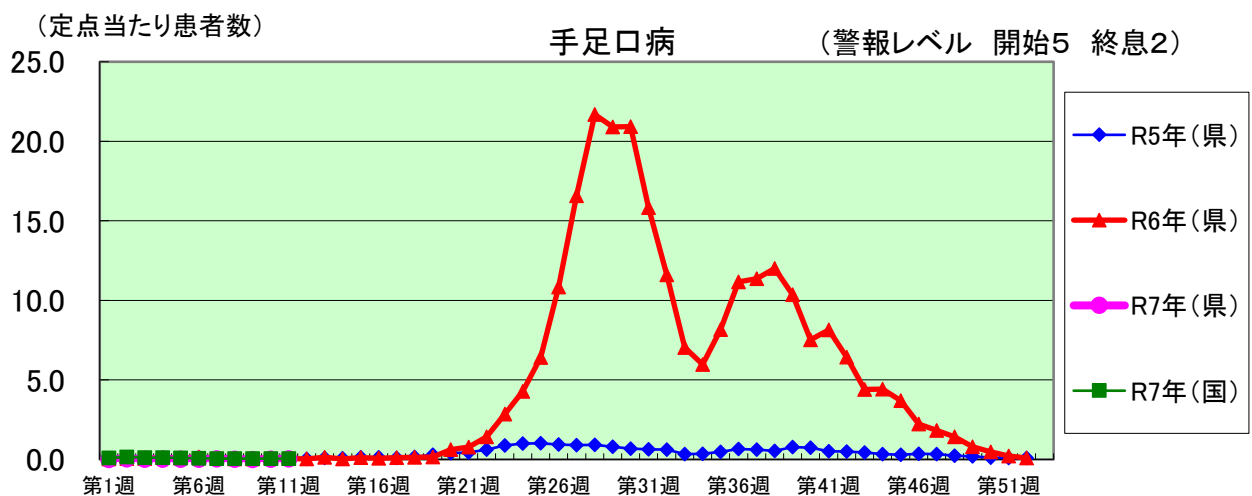
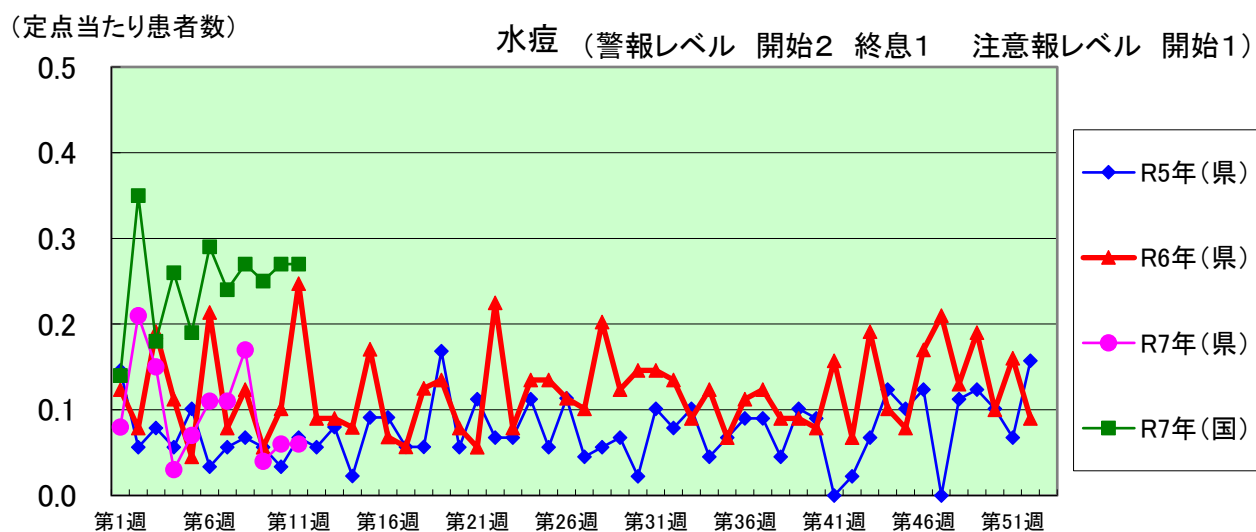
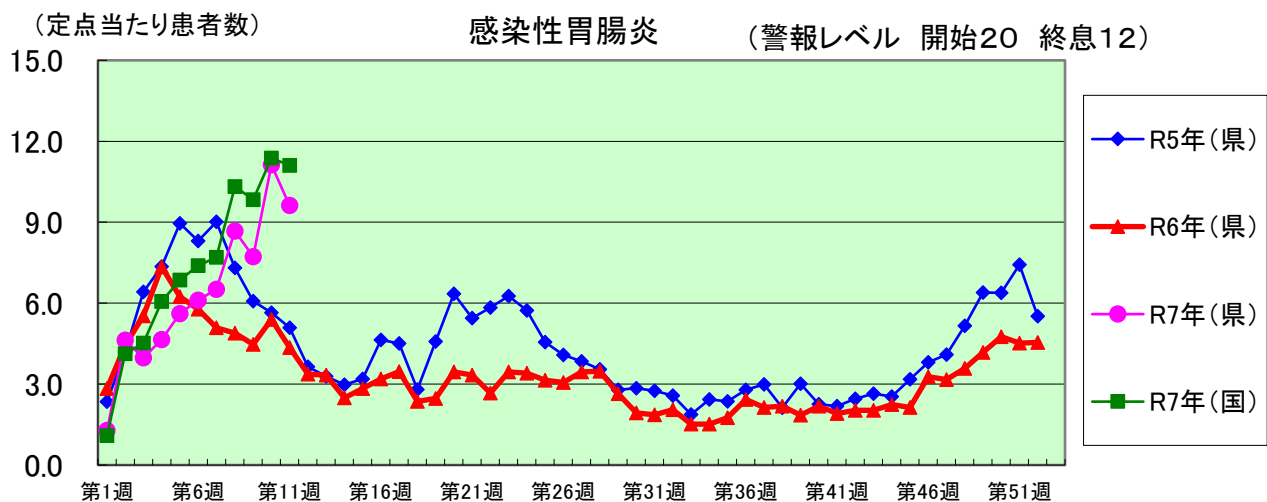
[illegible]

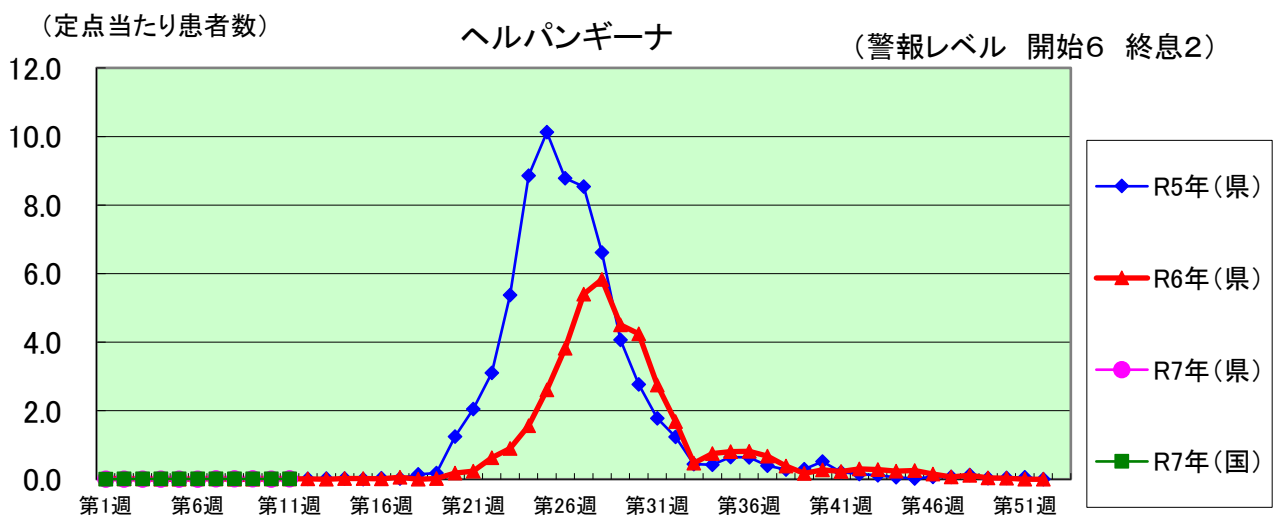
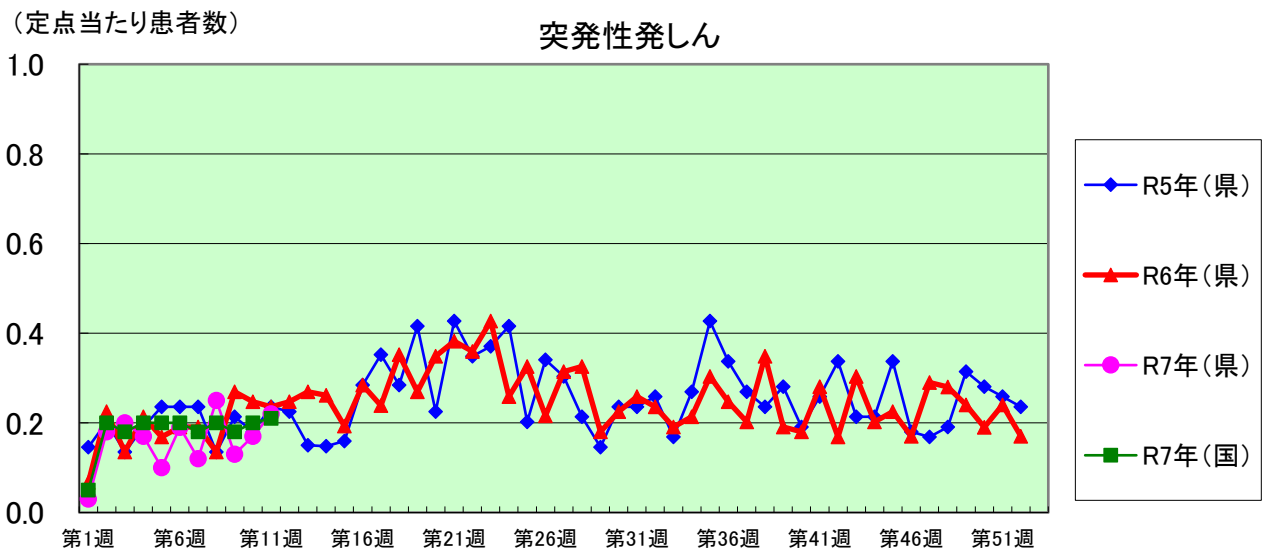
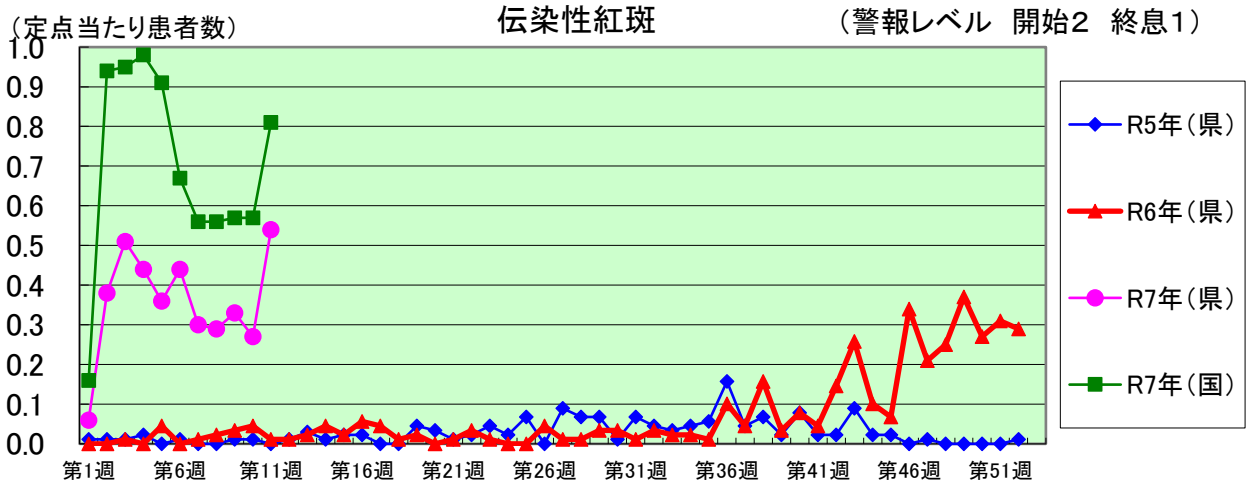
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2024年 第 11 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上											計
RSウイルス感染症	0.15	0.12	0.29	0.18	0.11	0.06	0.08	0.01				0.01		0.01											1.02
咽頭結膜熱			0.01	0.06	0.04		0.02							0.02											0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.01		0.02	0.11	0.04	0.12	0.15	0.15	0.13	0.07	0.16	0.17		0.04											1.18
感染性胃腸炎	0.02	0.37	0.98	1.03	0.87	0.81	0.98	0.89	0.69	0.44	0.47	1.19	0.12	0.76											9.62
水痘			0.01		0.01		0.01				0.01			0.01											0.06
手足口病					0.01	0.01			0.01																0.03
伝染性紅斑			0.01	0.03	0.07	0.02	0.09	0.16	0.02	0.08	0.06														0.54
突発性発しん		0.09	0.09	0.03	0.01																				0.22
ヘルパンギーナ								0.01																	0.01
流行性耳下腺炎						0.01																			0.01
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計				
インフルエンザ		0.02	0.04	0.04	0.06	0.07	0.09	0.12	0.32	0.19	0.31	0.76	0.09	0.07	0.14	0.14	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	2.57			
新型コロナウイルス感染症	0.02	0.08	0.08	0.08	0.08	0.04	0.04	0.06	0.05	0.08	0.06	0.49	0.22	0.33	0.47	0.54	0.51	0.45	0.57	0.72	4.99				
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計					
急性出血性結膜炎																				0	0.00				
流行性角結膜炎				0.05			0.05		0.05			0.05			0.24	0.05				0	0.45				
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計								
細菌性髄膜炎				0.10													0.10								
無菌性髄膜炎																	0.00								
マイコプラズマ肺炎		0.10		0.10											0.10		0.30								
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																	0.00								
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																	0.00								



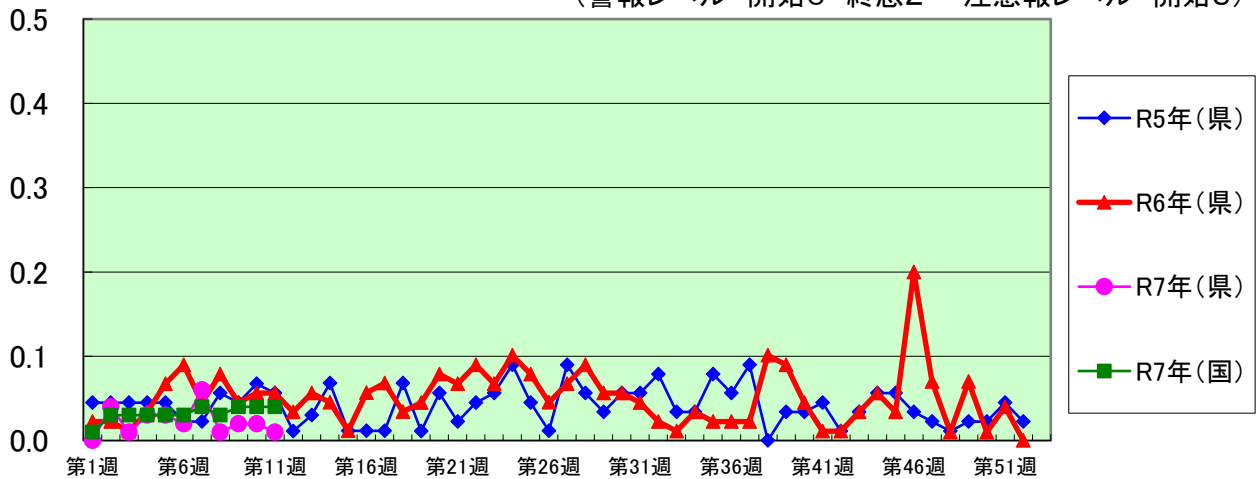




(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎

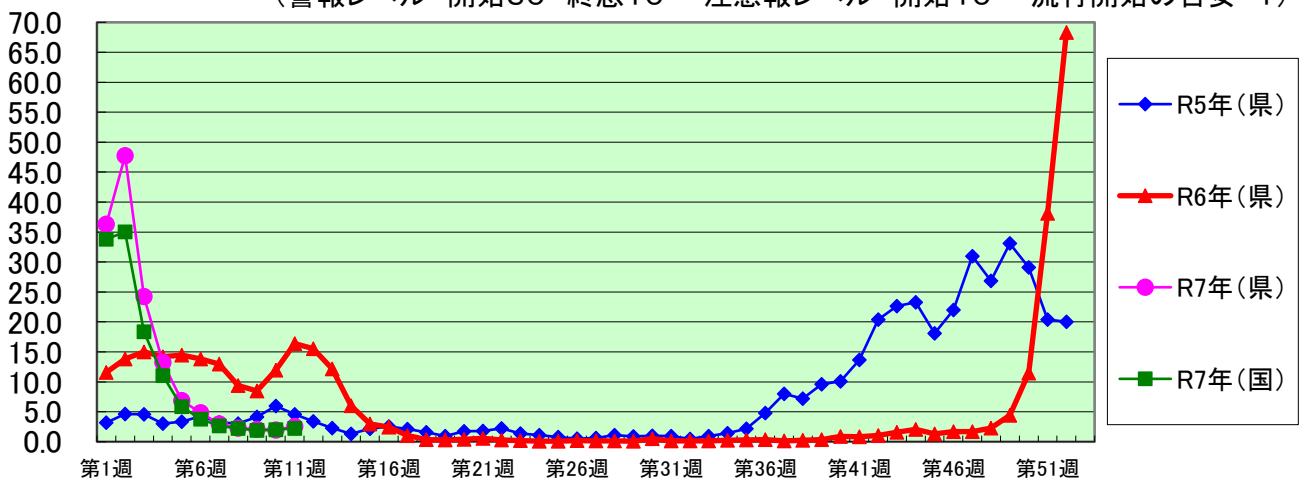
(警報レベル 開始6 終息2 注意報レベル 開始3)



(定点当たり患者数)

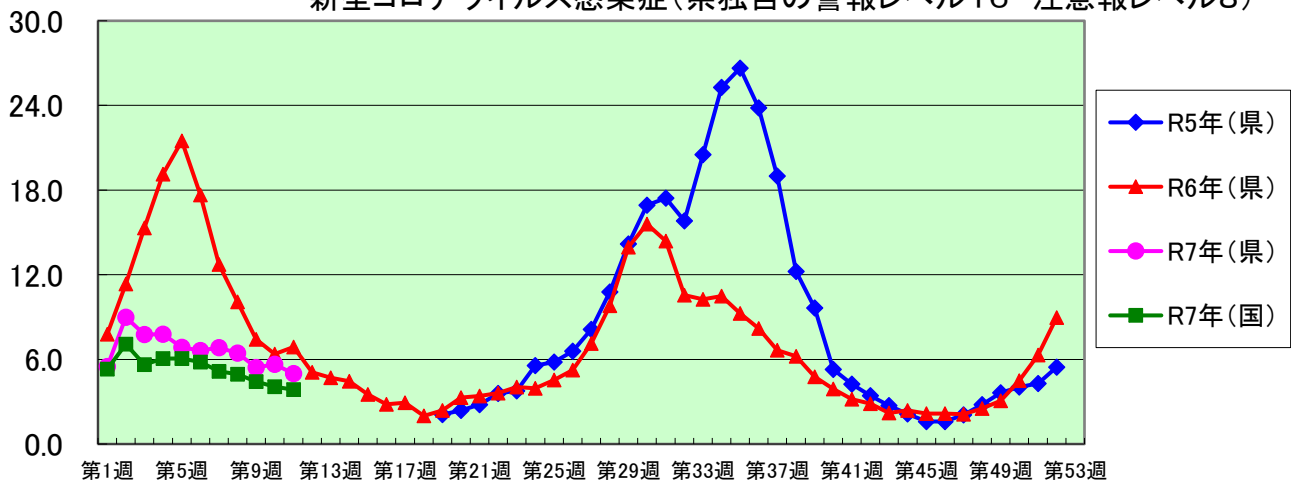
インフルエンザ

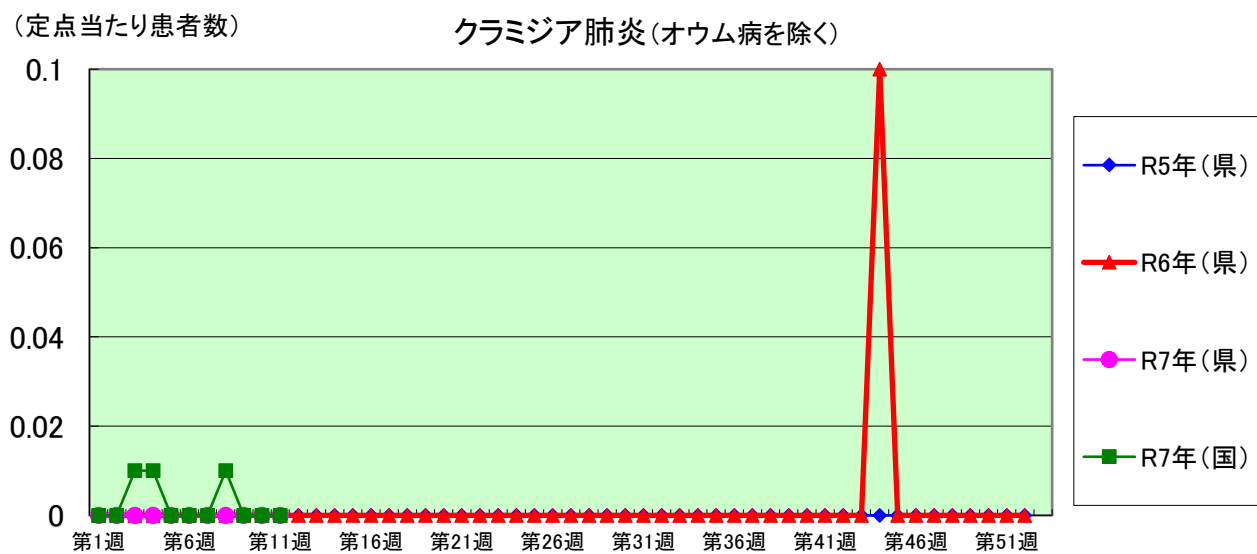
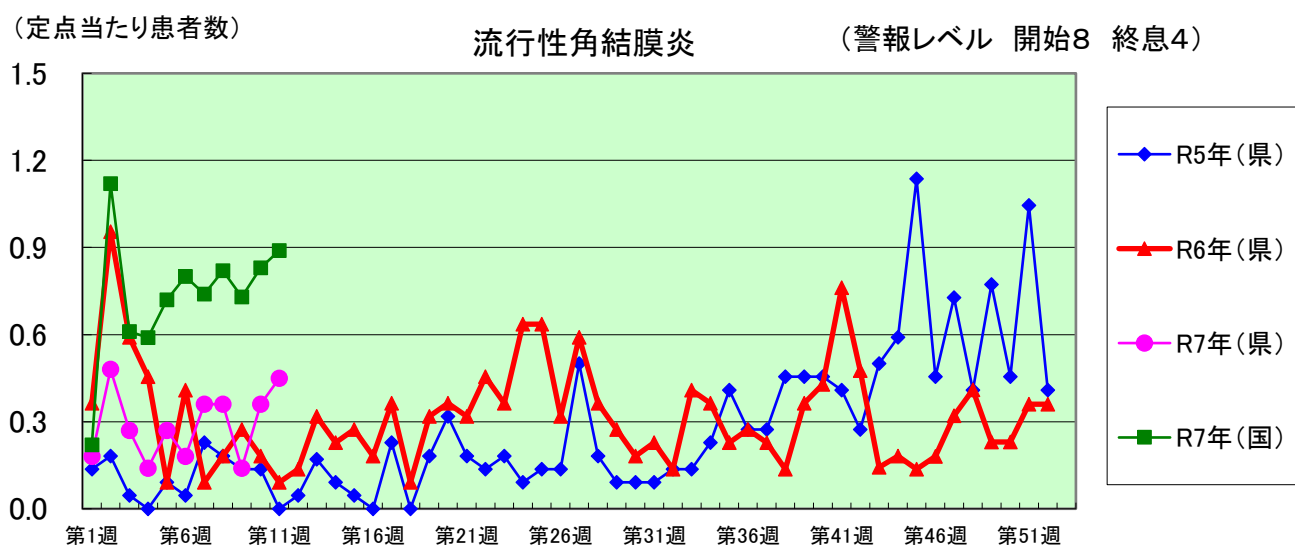
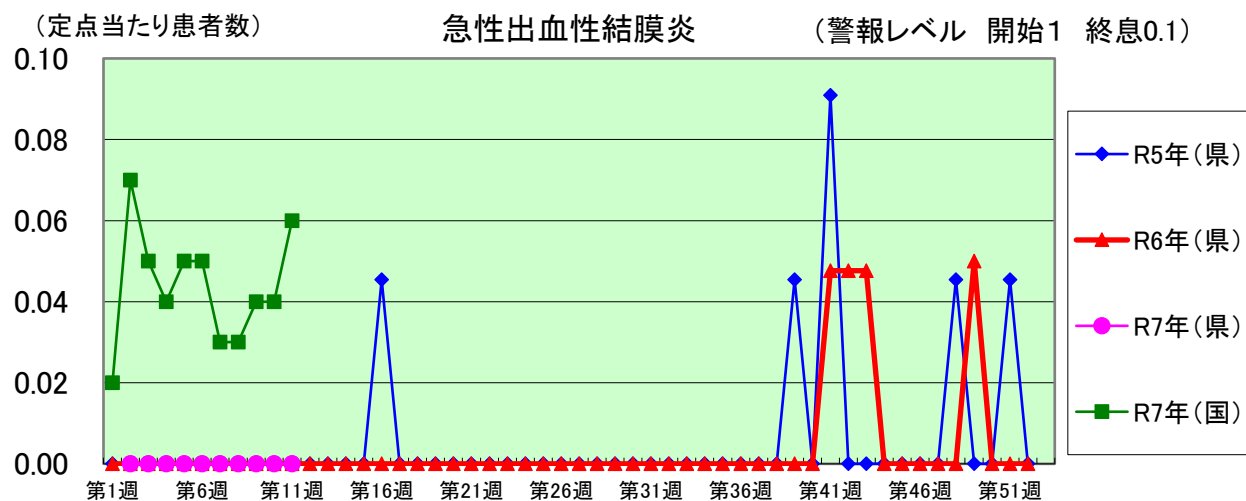
(警報レベル 開始30 終息10 注意報レベル 開始10 流行開始の目安 1)



(定点当たり患者数)

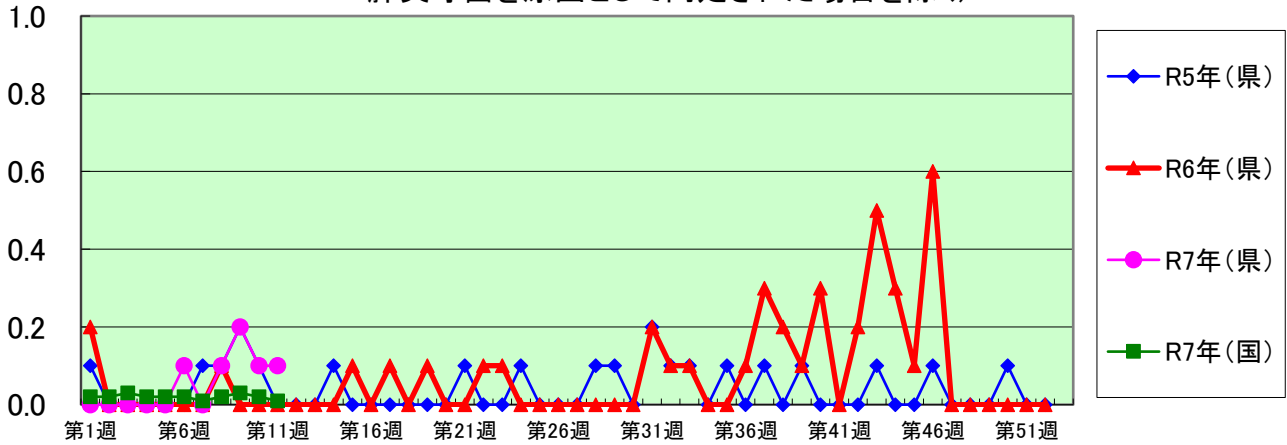
新型コロナウイルス感染症(県独自の警報レベル16 注意報レベル8)





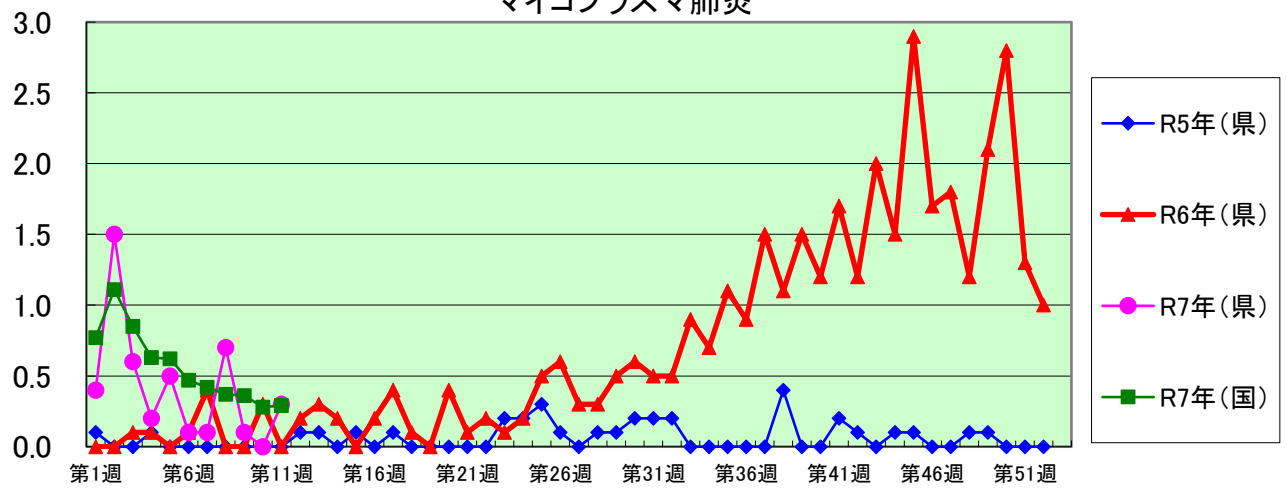
細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）

（定点当たり患者数）



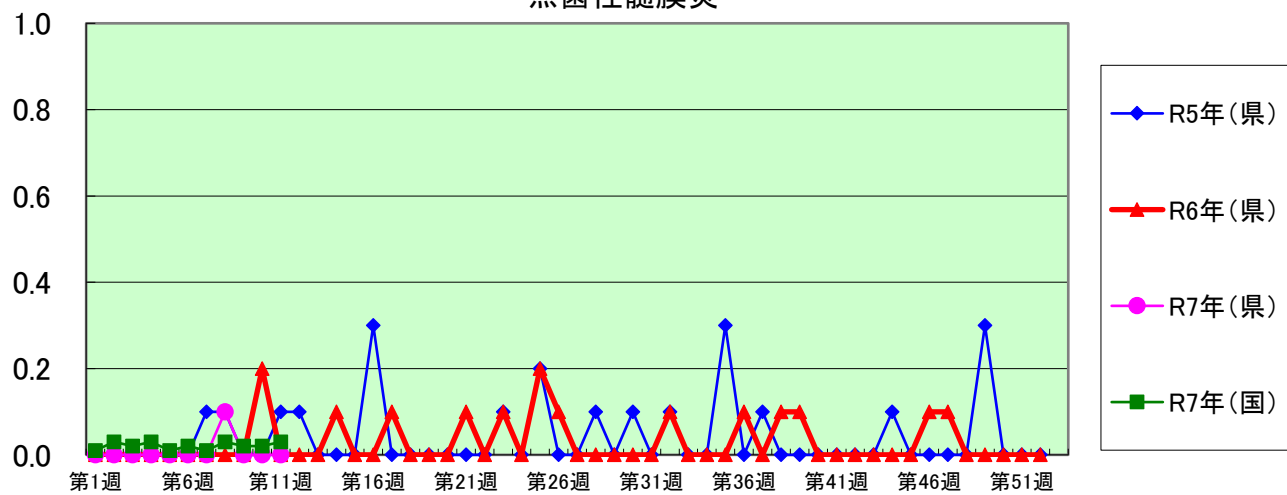
マイコプラズマ肺炎

（定点当たり患者数）



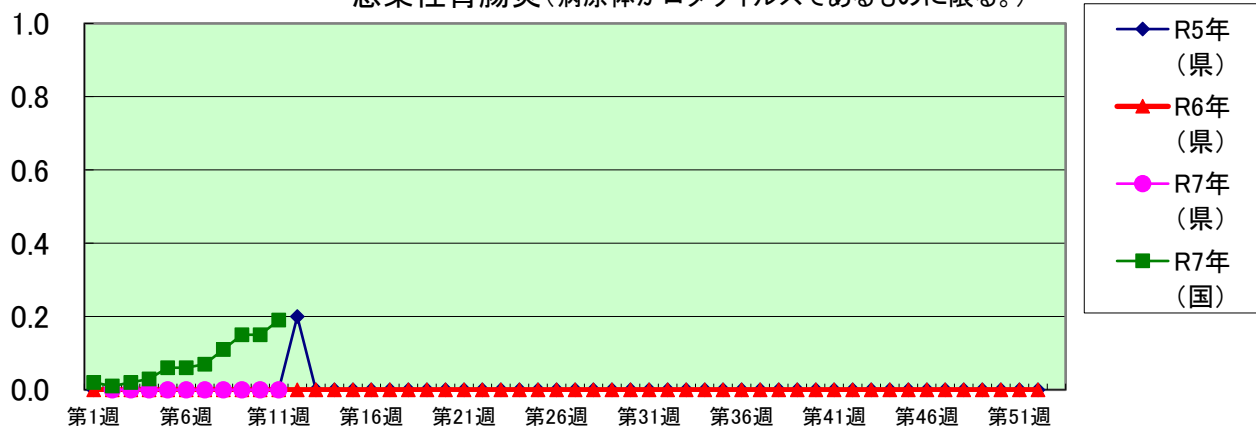
無菌性髄膜炎

（定点当たり患者数）



(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2025年 2 月

	静岡県							全国				
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	計	11月	12月	1月	今月	計
性器クラミジア感染症	53	47	39	39	46	32	256	2,340	2,074	2,217	2,018	8,649
性器ヘルペスウイルス感染症	15	22	15	13	16	19	100	748	840	798	741	3,127
尖圭コンジローマ	9	17	10	12	9	8	65	502	500	492	441	1,935
淋菌感染症	10	15	7	6	5	5	48	640	673	701	531	2,545
性器クラミジア感染症(男)	19	18	11	17	14	10	89	1,168	1,056	1,115	1,001	4,340
性器クラミジア感染症(女)	34	29	28	22	32	22	167	1,172	1,018	1,102	1,017	4,309
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	12	6	5	8	3	39	293	327	296	271	1,187
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	10	10	9	8	8	16	61	455	513	502	470	1,940
尖圭コンジローマ(男)	3	8	4	4	5	5	29	330	330	324	285	1,269
尖圭コンジローマ(女)	6	9	6	8	4	3	36	172	170	168	156	666
淋菌感染症(男)	8	13	5	5	5	3	39	487	503	535	396	1,921
淋菌感染症(女)	2	2	1	1	—	2	8	153	170	166	135	624
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18	13	15	28	32	36	142	1,213	1,318	1,495	1,256	5,282
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				—	—	—		83	86	116	78	363
薬剤耐性緑膿菌感染症				—	—	—		5	11	6	5	27

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2025年 2 月

	静岡県						全国			
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	11月	12月	1月	今月
性器クラミジア感染症	1.77	1.57	1.30	1.30	1.53	1.07	2.39	2.13	2.28	2.07
性器ヘルペスウイルス感染症	0.50	0.73	0.50	0.43	0.53	0.63	0.76	0.86	0.82	0.76
尖圭コンジローマ	0.30	0.57	0.33	0.40	0.30	0.27	0.51	0.51	0.51	0.45
淋菌感染症	0.33	0.50	0.23	0.20	0.17	0.17	0.65	0.69	0.72	0.54
性器クラミジア感染症(男)	0.63	0.60	0.37	0.57	0.47	0.33	1.19	1.08	1.15	1.02
性器クラミジア感染症(女)	1.13	0.97	0.93	0.73	1.07	0.73	1.20	1.04	1.13	1.04
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.40	0.20	0.17	0.27	0.10	0.30	0.34	0.30	0.28
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.33	0.33	0.30	0.27	0.27	0.53	0.46	0.53	0.52	0.48
尖圭コンジローマ(男)	0.10	0.27	0.13	0.13	0.17	0.17	0.34	0.34	0.33	0.29
尖圭コンジローマ(女)	0.20	0.30	0.20	0.27	0.13	0.10	0.18	0.17	0.17	0.16
淋菌感染症(男)	0.27	0.37	0.17	0.17	0.17	0.10	0.50	0.52	0.55	0.41
淋菌感染症(女)	0.07	0.07	0.07	0.27	0.13	0.10	0.16	0.17	0.17	0.14
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.80	1.30	1.50	2.80	3.20	3.60	2.53	2.75	3.13	2.62
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				－	－	－	0.17	0.18	0.24	0.16
薬剤耐性緑膿菌感染症				－	－	－	0.01	0.02	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2025年 2 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	32	1.07	19	0.63	8	0.27	5	0.17
賀茂	...	...	...	...	...	...	...	...
熱海	1	1.00	3	3.00	-	-	-	-
東部	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-
御殿場	-	-	1	1.00	-	-	-	-
富士	7	2.33	3	1.00	1	0.33	1	0.33
静岡市	8	1.33	5	0.83	5	0.83	-	-
中部	6	1.50	4	1.00	-	-	2	0.50
西部	9	1.80	-	-	1	0.20	2	0.40
浜松市	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-

保健所名	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	36	3.60	-	-	-	-
賀茂	1	1.00	-	-	-	-
熱海	2	2.00	-	-	-	-
東部	4	4.00	-	-	-	-
御殿場	...	...	...	...	...	...
富士	1	1.00	-	-	-	-
静岡市	22	11.00	-	-	-	-
中部	-	-	-	-	-	-
西部	3	3.00	-	-	-	-
浜松市	3	1.50	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2 月

[illegible]

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2 月

[illegible]

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2025年

第11週

$$3/10 \sim 3/16$$

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

[illegible]

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2025年

第11週

3/10 ~ 3/16

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
島田市	学校・園の数										0	14
	学校・園の患者数合計										0	158
焼津市	学校・園の数										0	20
	学校・園の患者数合計										0	293
藤枝市	学校・園の数										0	27
	学校・園の患者数合計										0	340
牧之原市	学校・園の数										0	5
	学校・園の患者数合計										0	105
吉田町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	40
川根本町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
磐田市	学校・園の数										0	18
	学校・園の患者数合計										0	222
掛川市	学校・園の数										3	22
	学校・園の患者数合計										32	256
袋井市	学校・園の数										0	17
	学校・園の患者数合計										0	222
湖西市	学校・園の数										1	12
	学校・園の患者数合計										27	145
御前崎市	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	50
菊川市	学校・園の数										0	6
	学校・園の患者数合計										0	61
森町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市中央区	学校・園の数										0	86
	学校・園の患者数合計										0	1,605
浜松市浜名区	学校・園の数			1						1	1	26
	学校・園の患者数合計			10						10	34	484
浜松市天竜区	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	25
県内合計	学校・園の数	1		6	1					8	7	495
	学校・園の患者数合計	8		101	15					124	107	7,473
2024-2025 シーズン 施設別合計	学校・園の数	6	24	297	93	63	5	7				
	学校・園の患者数合計	61	248	4,302	1,381	1,317	95	69				

・第11週のインフルエンザの定点当り患者数は2.57で流行レベルとなっています。

・咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。

(※ 咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)

新型コロナ変異株ゲノム解析結果について

（１月２７日（月）～２月２３日（日）分の集計）

１月下旬～２月中旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

結果判明日：２月３日（月）・２月８日（土）・２月２１日（金）

< 変異株の件数 >

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	0	0	0	0	28	28
	(内BA. 2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(14)	(14)
	(内BA. 5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内組換え体)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(14)	(14)

本県の変異株の判明状況（２月２３日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	11,227	6,386	2,480	2,361
	(前回からの増加数)	(28)	(28)	(0)	(0)
デルタ株 (R3. 5. 16～)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4. 1. 1～)	判明者数	8,816	5,130	1,832	1,854
	(前回からの増加数)	(28)	(28)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA. 2】	判明者数	2,114	1,097	560	457
	(前回からの増加数)	(14)	(14)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA. 5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換え体】	判明者数	863	509	106	248
	(前回からの増加数)	(14)	(14)	(0)	(0)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（2月23日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換え体	BA. 2	BA. 5	組換え体
1月29日（月）～ 2月25日（日）	80	49	0	31	61.3%	0.0%	38.8%
2月26日（月）～ 3月24日（日）	63	50	0	13	79.4%	0.0%	20.6%
3月25日（月）～ 4月21日（日）	82	72	0	10	87.8%	0.0%	12.2%
4月22日（月）～ 5月26日（日）	19	19	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
5月27日（月）～ 6月23日（日）	40	40	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
6月24日（月）～ 7月21日（日）	90	90	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
7月22日（月）～ 8月25日（日）	116	116	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
8月26日（月）～ 9月22日（日）	107	106	0	1	99.1%	0.0%	0.9%
9月23日（月）～ 10月20日（日）	27	26	0	1	96.3%	0.0%	3.7%
10月21日（月）～ 11月24日（日）	31	31	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
11月25日（月）～ 12月22日（日）	21	17	0	4	81.0%	0.0%	19.0%
12月23日（月）～ 1月26日（日）	44	26	0	18	59.1%	0.0%	40.9%
1月27日（月）～ 2月23日（日）	28	14	0	14	50.0%	0.0%	50.0%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （1月27日（月）～2月23日（日）判明分）

系統名※	判明数	割合	
JN.1	0	0.0%	
KP.3	13	46.4%	KP.3系統13件のうち、MC.1が4件
その他のKP	1	3.6%	
XEC	13	46.4%	XEC系統13件のうち、XECが最多で10件
XDQ	0	0.0%	
その他	1	3.6%	
計	28	100.0%	

※国立感染症研究所「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の変異株 BA. 2.86 系統について 第2報」及び「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の変異株 KP.3 系統について」において、「ウイルス学的・疫学的・臨床的知見の収集と、国内外での発生状況の監視を継続する必要がある」とされている系統等、重要と思われる変異株の系統を掲載しています。

2025年3月21日公開
静岡県感染症対策課 055-928-7220